ifbrand

トライウインポケット
Trywin Pocket

DTN-X680

取扱説明書

1SEG ワンセグ

商標と著作権

目次

目次

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意［本体］

警　告

- 付属のシガー電源アダプターは､必ずDC 12 V車またはDC24V車で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。
本機はDC 12 V車またはDC24V車（大型トラック）以外には使用できません。
- 付属のACアダプターは、必ず交流（AC）100Vで使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。
- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。
ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。
時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
- 運転中や歩行中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車し、歩行中は安全な場所に立ち止まってから画面を見てください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り､シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警　告

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

- 濡れた手でシガー電源アダプターまたはACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

濡れ手接触禁止

- シガー電源アダプターまたはACアダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、シガー電源アダプターまたはACアダプターの電源コードが傷ついた場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたはACアダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

警　告

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器および付属のシガー電源アダプター、AC アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となることがあります。

分解禁止

- 指定以外のシガー電源アダプターや AC アダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。必ず本機指定のものを使用してください。
- シガー電源アダプターのヒューズは、必ず規定容量品を使用してください。
交換は専門の技術者に依頼してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

注　意

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガープラグに直接接続してください。シガープラグを分岐させたアダプターには、接続しないでください。火災や故障の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターは、家庭用の交流（AC）100V で使用してください。DC/AC コンバータのように電源を変換した機器には、接続しないでください。交流（AC）100 以外の電源で使用すると火災や故障の原因になることがあります。

- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。
- 病院や航空機内では電源を切ってください。電子機器や医用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
  また、電車内など混雑した場所では電源を切ってください。付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいると影響を与える場合があります。
- 低温時には映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きが遅い、画質が悪くなることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面が曇ったり、露で正しく動作しないことがあります。1 時間位、その温度で放置してからご使用ください。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- シガー電源アダプターを取り付けた状態で、エンジンのセルスターターを動作させた場合、保証電圧範囲を超えた電圧変動が起きる可能性があります。そのためシガー電源アダプターや本体の故障の原因となることも予測されます。エンジンを始動させる際にはシガー電源アダプターをソケットから取り外してから行うようにしてください。
- 電源プラグは定期的にほこりや汚れを取り除いてください。
  また、AC プラグやシガーソケットは奥まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因になります。
- シガー電源アダプターや AC アダプターを取り外す際、ケーブルを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
- 禁煙車でシガープラグが装備されていない車の場合には、付属のシガー電源アダプターを使用する事が出来ませんので、お車のご購入先に相談ください。

注　意

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 運転中は、イヤフォンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量を最適なレベルに調節してください。
  突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- イヤフォンやスピーカーなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 本機をご使用にならないときは、シガー電源アダプターはシガーライターソケットから抜いてください。
  一部車種では、エンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。また、ACC にした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗し、バッテリーが上がる恐れがあります。
  電源 OFF 状態でシガー電源アダプター接続時におきましても充電供給されるため、車のバッテリーが上がる恐れがあります。ご使用にならない時は、必ずシガーライターソケットからシガー電源アダプターを抜いてください。
- 車に取り付ける際には、必ず付属の取り付けキットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
- ETC のアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- タッチスクリーンは付属のスタイラスペンまたは指先を使って操作してください。
  ボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったものなどでタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。
- タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。
- 変形したり、傷ついた microSD カードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。

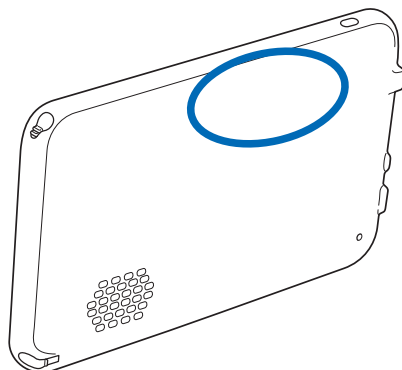
注　意

- microSD カードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。本機に正しく入れられなかったり、取り出せなくなることがあります。
- 万一、microSD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。
- ワンセグ用アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。
  アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。
- ワンセグの受信状態が悪い場合はしばらくそのままお待ちください。ワンセグは一般の家庭用に比べ受信エリアは狭くなります。
  また、車の場所、方向、速度などにより受信状態が変化します。
- シガーライターソケットの形状によっては、付属のシガー電源アダプターが入らない事があります。
- 車に取り付けられている電装品などの影響で本機が正しく動作しない事がまれにあります。
  その場合は、本体の位置を変えるなどで最適な場所を選んで取り付けてください。

タッチスクリーンについて

- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは液晶を使用しています。この液晶は高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、液晶のドット抜けにより赤(または緑、青)色の点が表示されることがありますが、これも液晶パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
  保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない場合があります。

内蔵 GPS アンテナについて

- 本機の上部に GPS アンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を充分に発揮することができません。

取り付けキットについて

- 取り付けキットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が充分にあるかをご確認ください。
- 取り付けキットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
- 取り付けキットを自動車以外には使用しないでください。
- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 吸盤はフロントガラスのような平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されていますので、フロントガラスには取り付けないでください。

microSD カードについて

- 本機は、動画、音楽、写真を microSD カードに入れて使用します。
- 本機の電源が入っているときに、microSD カードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、microSD カード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
- 本機で再生できるファイルを記憶するフォルダの制限はありません。
- ごくまれに、正常にお使いになっていても microSD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。
- microSD カードは付属されていません。市販の microSD カードをご購入ください。
- microSD カードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。

ご使用の前に

お買い上げの直後は、充電されていません。10 ～ 11 ページをご覧になり、充電してからご使用ください。

タッチスクリーン保護シートについて

- 市販の保護シートは貼らないでください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

電源が入らない場合は

長期間使われなかった、または本機の内蔵バッテリーのみで長時間使用された場合、電池が無くなって、電源が入られない場合があります。
このような場合は、充分に充電をおこなってから電源スイッチを長押ししてください。

注意

- 本機をお使いにならないときは、必ず電源を切るようにお願いいたします。

ナビゲーションの特徴

利用シーンの多さはポータブル随一！

- カーナビとしての利用はもちろん、歩行時に適切な道を案内してくれる“歩行者モード” やバイク走行に適した“ライダーモード” も搭載！ルート誘導をして欲しい様々なシーンで使えます。

高性能！ルート探索＆誘導！

- カーナビで実績を積んだインクリメント P 社製、高性能ルート探索エンジンを搭載！
- 4GB メモリに 50m スケールまでの多彩な地図表現を実現
- 有料道路は専用のハイウェイモード、入口・分岐イラストでわかりやすくご案内！
- 探索条件を「標準・距離優先・幹線優先・有料回避」の中からドライブプランに合わせて選択が出来ます！
- 交差点拡大、レーン情報や方面看板などでドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国号までの住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、キーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は、住所検索が約 3,600 万件、電話番号検索が約 740 万件、名称検索が約 300 万件！

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 信頼の地図サービス「MapFan」で実績を積んだデジタル地図を採用！
- 日本全国を 50m ～ 100km スケールの 11 段階でフルカバー！

その他の主な機能

- 経由地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップ表示の地図表示切替え
- 音声案内
- デモ走行
- 中型車 / 普通車 / 軽自動車の料金表示
- 予想到着時刻、残距離を表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

操作説明について

ナビゲーション・ソフトは、タッチスクリーンの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タッチする」と表現しています。

その他の特徴

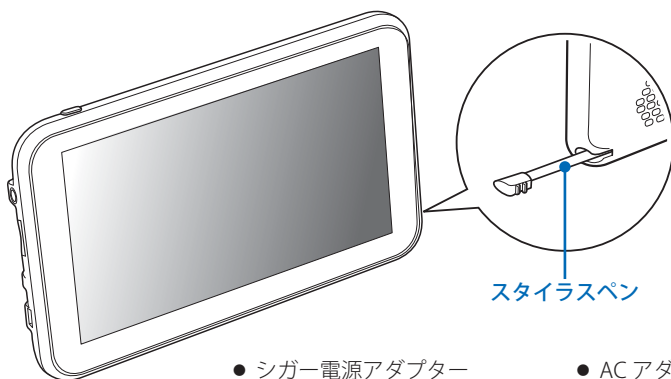
- ワンセグ TV の受信が可能：EPG（電子番組表）、字幕対応
- 動画、音楽、写真再生が可能
- 動画リストから AVI、MP4 ファイルの再生が可能
- 音楽リストから MP3 ファイルの再生が可能
- 写真リストから JPG ファイルの再生が可能
- 動画、音楽、写真ファイルは、便利なリスト表示
- 内蔵スピーカー、イヤフォンの自動切り替え可能
- 5V 型タッチスクリーン
- 内蔵リチウムポリマー充電池を使用し、約 1 時間 30 分※の動作が可能（ナビ表示画面時で明るさ設定が「5」の時）
  ※使用環境により、動作可能時間は異なります。
- メインメニュー画面時にて、バッテリー残量表示
- 本体の寸法は（突起物を含まず）（mm）：134（W）× 84（H）× 12.5（D）
- 質量（重量）：約 180 g

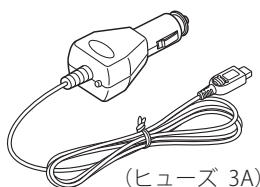
パッケージ内容の確認

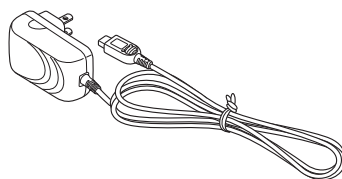
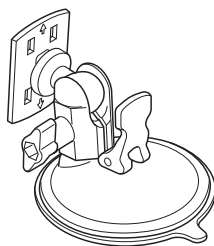
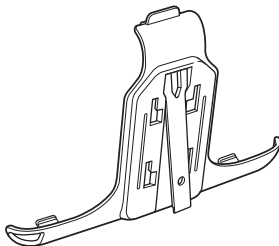
重要

- お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DTN-X680 トライウインポケット本体

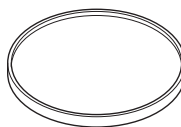
注意

- スタイラスペンを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。スタイラスペンの先で、事故やけがの原因となることがあります。スタイラスペンを使用するときは、周囲に十分注意してください。

- シガー電源アダプター

（ヒューズ 3A）

- AC アダプター

- 取り付けキット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）

吸盤付きステー

本体固定ホルダー（ミニスタンド付き）

吸盤ベース（両面テープ付き）

- 取扱説明書（本書）
- 保証書

注意

- 本体固定ホルダーのミニスタンドを使って、車内で本機をご使用にならいでください。

取り付けキットの使い方

付属の取り付けキット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）を使って、自動車に本機を取り付けます。

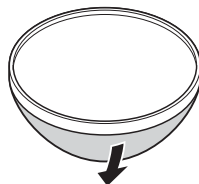
警告

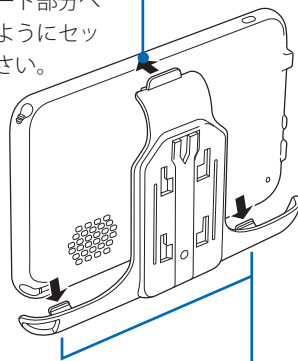
- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。
- 吸盤はフロントガラスの様な平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されてますので、フロントガラスには取り付けないでください。
- 取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
  交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
  事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。
- 一度取り外した吸盤ベースは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。本機が落下して、故障やけがの原因となります。

注意

- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 取り付けキットは、ダッシュボードの素材によって取り付けできない場合があります。

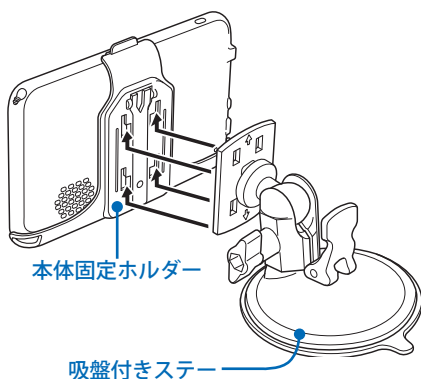
1 吸盤ベースを取り付けられる平らな場所を選び、その場所のホコリや油などをきれいに取り除く

2 吸盤ベースの底に付いているテープを剥がし固定する

3 本機下部から本体固定ホルダーをはめ、次に上部側をはめる

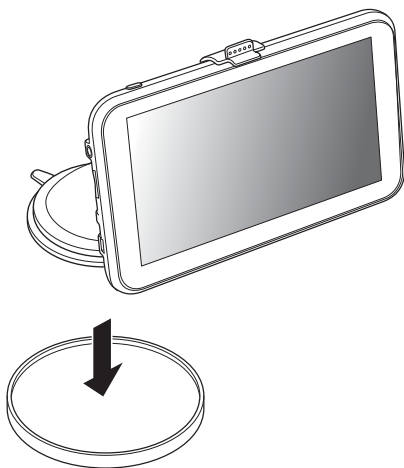
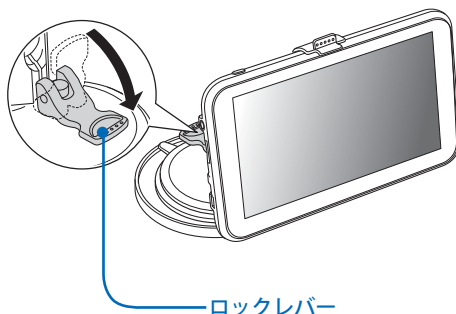
本体の上側がホルダー上部のサポート部分へ確実に入るようにセットしてください。

先に、本体の下側をホルダー下部のサポート部分へ確実に入るようにセットしてください。

メモ

- 本体の下側をホルダーに入れてから上側をホルダーに入れてください。

4 吸盤付きステーを本機に取り付けた本体固定ホルダーがカチッという音が鳴るまで上側にスライドさせる

注意

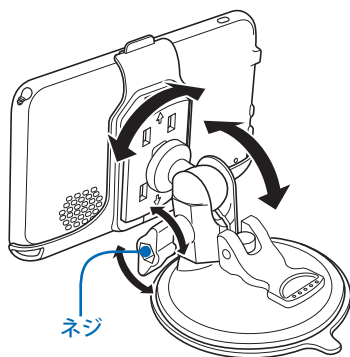
- 本体固定ホルダーをスライドさせて吸盤付きステーに取り付ける時、強度確保のために非常に堅く取り付けられるように設計されております。
  そのため、力を入れてカチッと音がするまでしっかりスライドさせてください。
  また、取り付けの際に手を滑らせて、手や指をけがしないように注意してください。

5 手順 **2** で取り付けた吸盤ベースの上に、吸盤付きステーを置く

6 吸盤付きステーのロックレバーを押し下げる

7 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。
- 取り付けキットは自動車以外に使用しないでください。

メモ

- ねじを緩めてお好みの角度と向きになるように調整してください。調整後はねじをしっかり固定してください。

注意

- 低温時などは吸盤の吸着力が弱くなり、落下の原因になります。車内が適温になってからご使用ください。

8 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

吸盤付きステーの取り外し方

盤付きステーを取り外す場合は、吸盤の破損及びダッシュボードの変形・破損を防ぐため、以下の手順で行ってください。

注意

- 吸盤付きステーを外す時は、無理に引っ張ったりしないでください。吸盤ベースごと剥がれるなどによりダッシュボードを破損する原因となる事があります。本書をよくお読みになり、取り付け・取り外しには充分にご注意ください。
- お客様の使用環境にもよりますが、できるだけ使用後は、吸盤付きステーを吸盤ベースからはずしてください。
  ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下して落下する原因となります。
- ソフトフィール仕上げまたはクッション性のある生地（スポンジが中に入っている）のダッシュボード部分に取り付けた際には、特に変形・破損にご注意ください。
- ロックレバーを解除した後に、取り外す際にはタブ（吸盤部分の後方のつまみ部分）を利用し、注意深くゆっくりと取り外し作業を行ってください。
- 吸盤ベースはテープで固定されていますので、無理に取り外すとダッシュボードに跡が残ったり、変形・破損がおきる可能性がありますので、取り付けや取り外しの際には十分注意してください。

重要

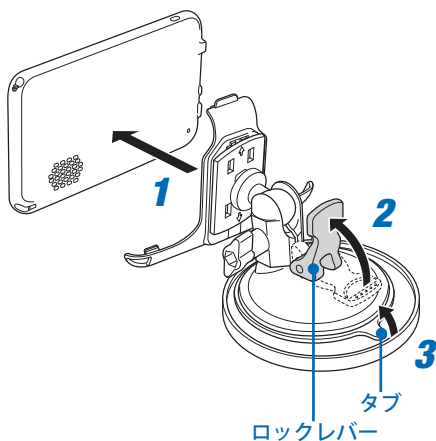
- 本機の取り付けや取り外しにおいて、ダッシュボードやその他の箇所に変形や破損が生じましても、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ダッシュボード上は非常に温度が高くなる場合があります。
  その場合、精密機器のため本機が正しく動作しなくなったり変形や故障が発生する可能性があります。
  取り付ける場所の温度には十分にご注意ください。
  また、ご使用にならない時は本機を取り外して日の当たらない涼しい場所に保管してください。

1 ナビゲーション本体を本体固定ホルダーから取り外す

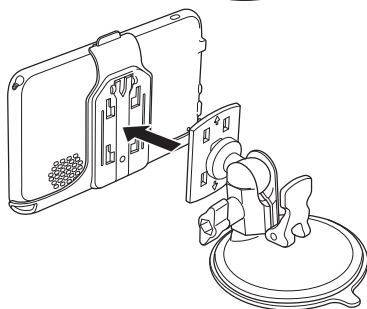
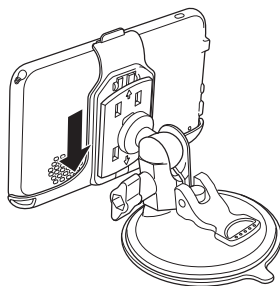
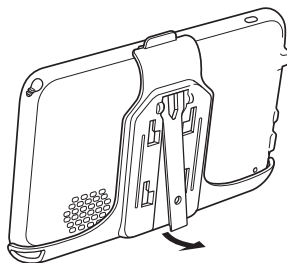
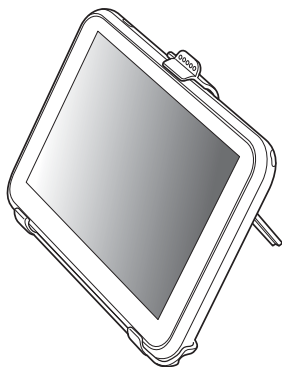
2 ロックレバーを押し上げる

3 吸盤部分のタブを持ち、徐々に吸盤内に空気を入れる

4 ゆっくりと吸盤をはがすように外す

吸盤をはがす際には、両手で作業を行って取り外してください。

固定ホルダーのミニスタンドの使い方

ご自宅や旅先の宿泊施設などで、本機と固定ホルダーのミニスタンドを使って、本機をご覧いただくことができます。

1 吸盤付きステーから固定ホルダーが付いた本機を外す

2 固定ホルダーからミニスタンドを出す

3 テーブルや机等の水平な場所に置く

注意

- 固定ホルダーのミニスタンドを使ってご使用中に、本機を上から強く押さないでください。ミニスタンドが破損する原因になることがあります。
- 車内ではミニスタンドを使って、本機をご使用にならないでください。落下して故障やケガの原因となることがあります。
- ご自宅や旅先の宿泊施設などでお使いになる場合でも、必ず水平な場所でお使いください。斜めになった場所で使うと、落下して故障やケガの原因となることがあります。

電源を入れるには

警告

- 付属のシガー電源アダプターは、車のエンジンをスタートさせてから、接続してください。付属のシガー電源アダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本機の故障や不具合の原因となることがあります。

重要

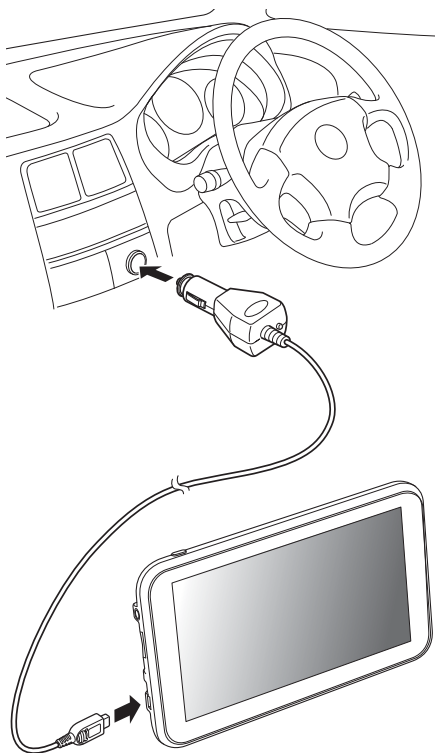
- 出荷時、本機内蔵のリチウムポリマー充電池（以下、バッテリーと表記）は充電されておりません。シガー電源アダプターまたはACアダプターを接続し、充電を行ってからお使いください。

警告

- 付属のシガー電源アダプターは12V車または24V車でご使用になれます。電圧の異なる車で使用されると、発熱や故障の原因となります。お使いになる車の電圧が分からない場合は、車をお買い上げになった販売店などにお問い合わせください。
- 付属のACアダプターは、必ず交流(AC)100Vで使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

メモ

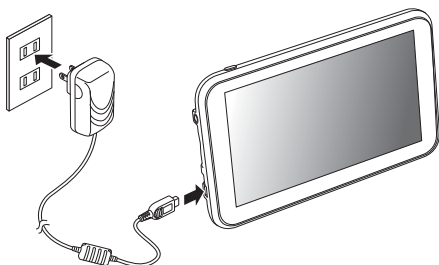
- 本機の電源が入っているときに、付属のシガー電源アダプターまたはACアダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと、電源を切るメッセージが表示されます。詳しくは、P18をご覧ください。

車内での使用

1. 車のエンジンをかける
2. 本機の充電端子と付属シガー電源アダプターの充電プラグを接続する
3. 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを、車のシガーライターソケットに挿入する
4. 本体左上の充電インジケーターが赤色に点灯することを確認する
   充電が終了すると青色で点灯します。

メモ

- バッテリーの残量がある場合は、外部電源が供給されると自動で、本機の電源が入ります。

室内での使用

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の充電端子と付属 AC アダプターの充電プラグを接続する

3 本体左上の充電インジケーターが赤色に点灯することを確認する

充電が終了すると青色で点灯します。

メモ

- バッテリーの残量がある場合は、外部電源が供給されると自動で、本機の電源が入ります。

充電の仕方

重要

- 車種により、シガー電源アダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。
- 本機の充電端子とパソコンを繋いでの充電はできません。
  充電は付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを使って、正しく充電してください。
- 本機は、充電できる温度範囲（0℃～ 45℃）を外れると安全性のために、本機の保護動作回路が働き、充電ができなくなります。本機が充電できる温度範囲に戻してください。

メモ

- 本機が充電できる温度範囲に戻すには、電源を切った状態で日陰や涼しい場所などに置いておくことをお勧めいたします。
  冷蔵庫内や冷房設備の直下等に置いて、急速に冷却するのは避けてください。
- バッテリー残量 / 充電表示は、以下のようになります

：バッテリーの残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。バッテリー充電警告画面となり、そのままにしておくとしばらくして電源が切れます。

：充電中です。バッテリー残量表示が左から右に移動します。

：充電完了です。

：充分に充電されている状態です。

- 充電完了は、本体左上の充電インジケーターが青色に点灯することでご確認ください。
- 充電の途中で電源を切っても、充電はそのまま続けられます。タッチスクリーン中央に充電中の （バッテリー残量表示が左から右に移動）が表示されます。

シガー電源アダプターでの充電方法

1 車のエンジンをかける

2 本機の充電端子と付属シガー電源アダプターの充電プラグを接続する

3 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに挿入する

4 充電インジケーターが赤色になることを確かめる

このとき、バッテリー残量表示は、充電中 に変化します。

5 充電インジケーターが青色になったら充電プラグを本体から外す

充分に充電されているとき、バッテリー残量表示は になります。
初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

6 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットから外す

7 付属シガー電源アダプターの充電プラグを本機の充電端子から外す

警告

- シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

注意

- シガーライターソケットから充電中は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- シガーライターソケットの形状によっては、付属シガー電源アダプターが入らない事があります。

AC アダプターの場合

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の充電端子と付属 AC アダプターの充電プラグを接続する

3 充電インジケーターが赤色になることを確かめる

このとき、バッテリー残量表示は、充電中 に変化します。

4 充電インジケーターが青色になったら充電プラグを本体から外す

充分に充電されているとき、バッテリー残量表示は になります。
初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

5 付属 AC アダプターの充電プラグを本機の充電端子から外す

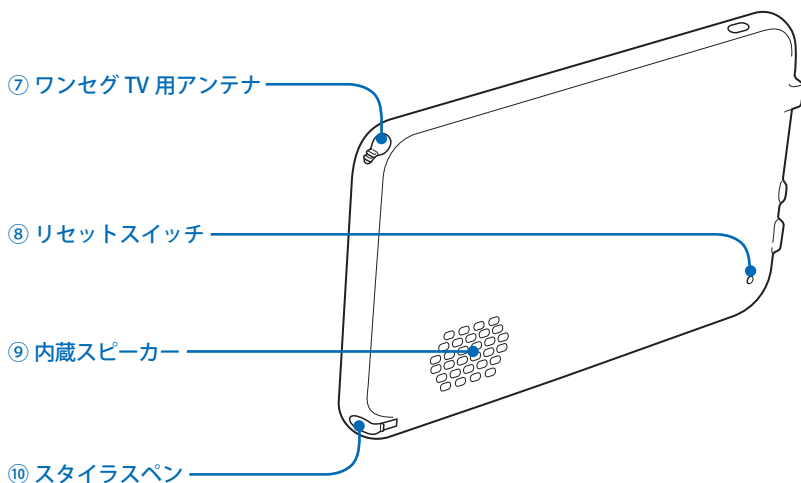
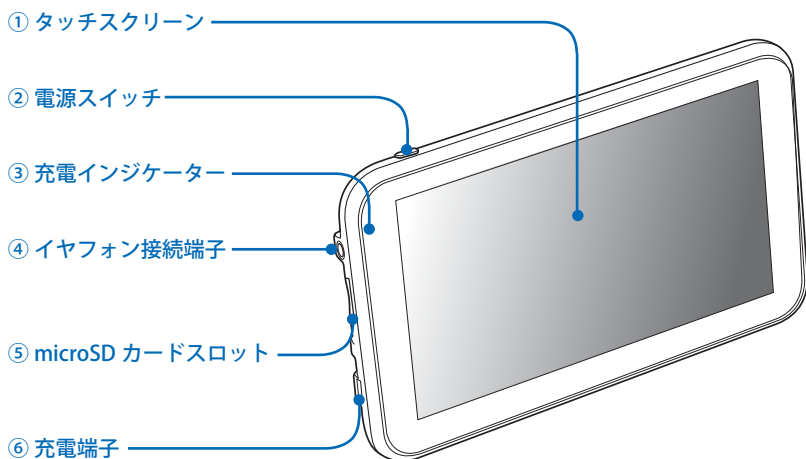
6 交流 100V のコンセントから付属 AC アダプターの AC プラグを外す

警告

- 付属 AC アダプターのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

各部の名称

① タッチスクリーン
② 電源スイッチ
③ 充電インジケーター
④ イヤフォン接続端子
⑤ microSD カードスロット
⑥ 充電端子

⑦ ワンセグ TV 用アンテナ
⑧ リセットスイッチ
⑨ 内蔵スピーカー
⑩ スタイラスペン

各部の動作

① タッチスクリーン

タッチスクリーン上の表示を付属のスタイラスペンまたは指先を使って操作します。

注意

- ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。

② 電源スイッチ

- 電源が切れた状態で、このスイッチを長押しすると電源が入ります。
- 本機の電源を切るには､「パワーオフ」のメッセージが表示されるまで、このスイッチを押してください。

③ 充電インジケーター

インジケーターの色により、本機の動作状態をお知らせします。
充電中：赤色
充電完了：青色

メモ

- インジケーターは、電源が切られていても、付属の電源アダプターが接続されていると充電状態を表示するために点灯します。

④ イヤフォン接続端子

この端子に市販のφ 3.5（ミニプラグ）ステレオイヤフォンを接続してください。この端子にイヤフォンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。

注意

- イヤフォンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑤ microSD カードスロット

ここに microSD カードを挿入します。

注意

- microSD カードスロットには､microSD カード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。

メモ

- microSD は、microSDHC にも対応しております。

⑥ 充電端子

ここに付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターの充電プラグを接続します。
本機専用の電源アダプター以外は接続しないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。

注意

- 本機は USB ケーブルで PC と接続する事は出来ません。接続すると製品が壊れる可能性がありますので、ご注意ください。

⑦ ワンセグTV用アンテナ（内蔵式ロッドアンテナ）

ワンセグTV用のロッドアンテナです。ワンセグTVを見るときは、引き出してお使いください。

注意

- ワンセグTV用アンテナは、最後まで引き出してお使いください。アンテナを引き出すのを途中で止めてお使いになると、受信感度が低下します。
- ワンセグ用アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。
  アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

⑧ リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなったときに押してください。（→ P105）

メモ

- リセットスイッチを押しても登録地等のメモリーは消えません。

⑨ 内蔵スピーカー

ここから音声がでます。

注意

- イヤフォン接続端子が使用されている時は、内蔵スピーカーから音声は出ません。

⑩ スタイラスペン

ここに付属のタッチパネル操作用のスタイラスペンを格納します。

注意

- スタイラスペンを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。スタイラスペンの先で、事故やけがの原因となることがあります。
  スタイラスペン使用するときは、周囲に十分に注意してください。

表示について

メインメニューについて

電源を入れると下記のメインメニュー画面が表示されます。
メインメニュー画面のそれぞれのアイコンをタッチすることで機能を切り替えることができます。

バッテリー残量 / 充電表示
バッテリーの残量を表示します。
：電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。
：充電中です。バッテリー残量表示が左から右に移動します。
：充電完了です。
：充分に充電されている状態です。

microSD カード表示
：microSD カード有
：microSD カード無

時刻
GPS 衛星で受信した情報を元に時刻を表示します。

ワンセグ TV
ワンセグ TV を見るときには、ここをタッチします。

動画再生
動画を再生するには、ここをタッチします。

ナビゲーション
ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

音楽再生
音楽を再生するには、ここをタッチします。

設定
システム設定の変更をするには、ここをタッチします。
設定メニューが表示されます。

写真再生
写真を再生するには、ここをタッチします。

ナビゲーションメニュー

ナビゲーション中に [**メニュー**] をタッチして呼び出します。
メニュー 1 が呼び出されます。
この画面から目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

メニュー 1

名称（P32）
名称から場所を探すときに、ここをタッチします。

電話番号（P31）
電話番号から場所を探すときに、ここをタッチします。

住所（P29）
住所から場所を探すときに、ここをタッチします。

メニュータグ
メニュー 1 とメニュー 2 を切り換えるときに、ここをタッチします。

周辺施設（P33）
現在地の周辺施設を探すときに、ここをタッチします。

メニュー 1　メニュー 2
都道府県　住所　1 2 3　電話番号　あいう　名称　周辺施設
ジャンル　登録地　検索履歴　自宅に戻る
現在地　ルート確認　ナビ設定　地図に戻る

ジャンル（P34）
食べるものや買うものなどのジャンルで探すときに、ここをタッチします。

自宅に戻る（P41）
現在地から自宅に戻るルートを設定するときに、ここをタッチします。

現在地（P28）
ナビゲーションメニューを終了して、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

地図に戻る
メニューを表示する前の地図に戻るときに、ここをタッチします。

ルート確認（P40 ～ P53）
ルートが設定されているときに表示されます。
誘導の開始や再設定、ルートの削除などを行うときに、ここをタッチします。

検索履歴（P37）
過去に検索した行き先（目的地）から探すときに、ここをタッチします。

ナビ設定（P61 ～ P67）
用途やお好み応じてナビゲーションの設定を変更するときに、ここをタッチします。

登録地（P36）
既に登録してある地点を探すときに、ここをタッチします。

メニュー2

マップコード（P38）
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

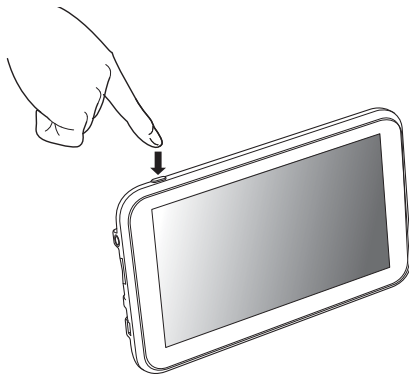
終了（P21）
ナビゲーションを終了して、メインメニューに戻ります。

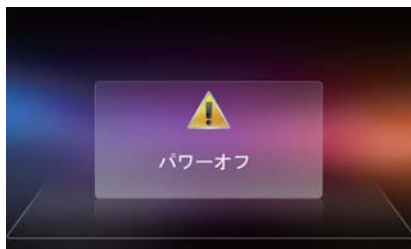
メニュー1
メニュー2
マップコード
ナビ終了
現在地
ルート確認
ナビ設定
地図に戻る

基本の操作

電源の入れ方・切り方

1 電源を入れるには、電源スイッチを長押しする

▼

メインメニューが表示されます。

2 電源を切るには、[パワーオフ] の表示が出るまで電源スイッチを押す

電源オフのカウントダウンについて

本機の電源が入っているときに、付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと以下のメッセージが表示されます。
「10 秒後に自動で電源が切れます。そのままお使いになる場合は、画面をタッチしてください。」

何もせずに 10 秒待つと電源は切れます。

そのままお使いになるときは、電源が切れるまでの間に次のようにしてください。なお、この操作を行うとメッセージも消えます。

- 画面をタッチする
- 車のエンジンを切った場合は、再度エンジンをかける
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターが抜けた場合は、再度接続する

注意

- 画面へのタッチや付属のシガー電源アダプターの接続は、車を安全な場所に停車してからおこなってください。
- 一部車種でエンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。
  また、ACC にした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。
  その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗しますので、必ずシガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてください。
  電源 OFF 状態でシガー電源アダプター接続時におきましても充電供給されるため、車のバッテリーが上がる恐れがあります。ご使用にならない時は、必ずシガーライターソケットからシガー電源アダプターを抜いてください。

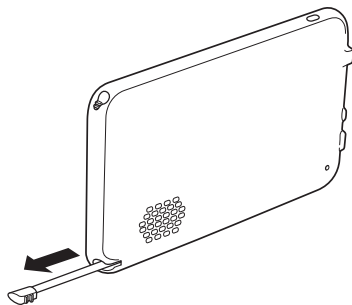
タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

注意

- タッチスクリーンは付属のスタイラスペンまたは指を使って操作してください。
- ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。
- 市販の保護シートは貼らないでください。保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない事があります。

付属スタイラスペンの使い方

1 本体からスタイラスペンを取り出す

2 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

3 使い終わったら、本体に戻す

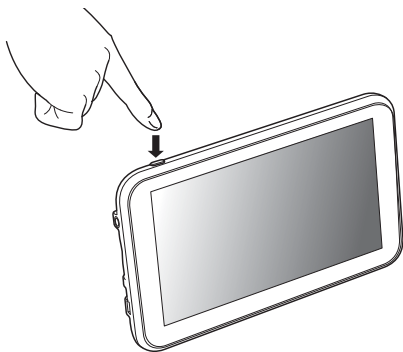
メモ

- 付属のスタイラスペンを使って、本機のリセットスイッチを押すこともできます。
  （→ P105）

注意

- スタイラスペンを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。スタイラスペンの先で、事故やけがの原因となることがあります。
  スタイラスペン使用するときは、周囲に十分に注意してください。

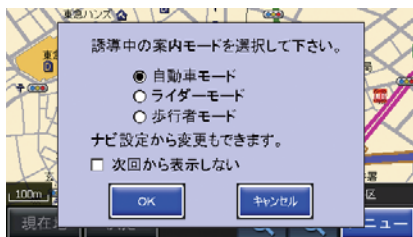
ナビゲーションの起動

1 電源スイッチを押す

2 メインメニューの[**ナビゲーション**]をタッチする

▼

起動画面表示後にナビゲーションが起動し、案内モード選択画面が表示されます。

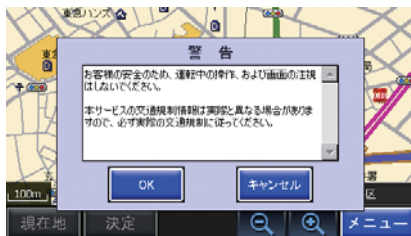
3 利用する案内モードをタッチして[OK]をタッチする

▼

案内モード選択画面が表示されてから何も操作しないで15秒経過すると、自動的にチェックマークがついているモードが選択され、警告画面が表示されます。

メモ

- 誘導中の案内モード選択画面を次回から表示しないときは､「次回から表示しない」のチェックボックスをタッチして、チェックマークを付けます。
  表示されなくなった誘導中の案内モードは、[**ナビ設定**]の[**ルート設定**]にて(→P62)[**誘導モード**]の種類を選ぶことで変更できます。

4 警告画面の[OK]をタッチする

▼

現在地画面が表示されます。

メモ

- GPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないとき：
  - 前回、ナビゲーション起動中の画面で、電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には最後に記憶した位置を表示します。
  - 前回、ナビゲーションを終了してから、電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には前回終了時の地点を表示します。
- 案内モード選択画面､警告画面で[**キャンセル**]をタッチすると、ナビゲーションの起動を中止して本機のメインメニューに戻ります。

ナビゲーションの終了

ナビゲーションの終了は、「メニュー2画面」を表示してから[**ナビ終了**]をタッチします。
表示された確認ダイアログ画面の[**OK**]をタッチすると、ナビゲーションを終了します。(→P27)「メニュー画面を表示する」

メニュー1 メニュー2
マップコード
ナビ終了
現在地 ルート確認 ナビ設定 地図に戻る

▼

メニュー1 メニュー2
アプリケーションを終了します。
よろしいですか？
OK キャンセル
現在地 ルート確認 ナビ設定 地図に戻る

メモ

- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、「メニュー1画面」((→P27)「メニュー画面を表示する」)を表示してから[**ルート確認**]をタッチし、「ルート確認画面」((→P45)「ルート誘導を開始する」)で[**誘導開始**]をタッチすると前回終了時の検索地点へルート誘導を行います。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。起動後の地図画面は100m スケールで表示します。

方位表示
赤い三角が北の方向を示します。

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。
- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示の順に切り替わります。

GPS 信号測位表示
GPS 信号の取得状況を表示します。
未取得： GPS
2 次元測位： GPS
3 次元測位： GPS

現在地マーク
現在地を示します。アイコンはモードによって異なり、自動車モードとライダーモードは、進行方向を表します。

スケール表示
地図のスケール（距離）を表示します。

スケール［＋］［－］
地図のスケールを変更します。

［メニュー］
［メニュー］をタッチすると、「メニュー画面」に切り替わります。（→ P27）「メニュー画面を表示する」

メモ
- 誘導が開始されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線（赤色）が表示されます。
- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動すると、リセットされて 100m スケールで地図を表示します。
- 現在地マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないとき：
  - 前回、ナビゲーション起動中の画面で、電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には最後に記憶した位置を表示します。
  - 前回、ナビゲーションを終了してから、電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には前回終了時の地点を表示します。
- 道路名称の情報がない場合は、移動時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタッチする

タッチした地点を中心とした地図が表示されます。

センターマークの地名表示

センターマーク周辺の地名を表示します。

- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示の順に切り替わります。

センターマーク

地図上の中心点を示します。

[決定]

[決定] をタッチするとサブメニューが表示されます。(→ P29)「地図画面で探す」

[現在地]

「現在地画面」に戻ります。

メモ

- 誘導が開始されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線(赤色)が表示されます。
- 地図上をタッチし続けると、タッチした地点の方向に地図が連続してスクロールします。センターマークから離れた地点をタッチするほど、その距離に合わせて地図がスクロールします。
- 道路名称の情報がない場合は、移動時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。

地図のスケールを変える

地図のスケールは 50m ～ 100km の範囲で変えることができます。
通常は 100m スケールで表示されます。

1 [+]・[–] をタッチする

タッチするたびに 50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km で地図のスケールが変わります。

メモ

- [+] または [–] をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップ（走行方向）と、常に北を上に表示するノースアップ（北上固定）の地図表示を選ぶことができます。
ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変更するときは、（→ P64）「地図表示の向きを変更する」を参照してください。

〈ヘディングアップ〉

〈ノースアップ〉

地図画面の配色について

地図画面の配色を時刻連動 / 昼 / 夜 / 屋外で選ぶことができます。夜は夜間移動時、屋外は明るい場所を移動時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。時刻連動に設定すると、日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えます。

〈昼〉

〈夜〉

〈屋外〉

メモ

- ご購入時は、時刻連動に設定されています。地図画面の配色を変更するときは、(→ P64)「地図の配色を変更する」を参照してください。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

自宅のアイコン

メモ

- アイコンを表示する縮尺は、1/6250 (50m) と 1/12500 (100m) のみです。
- 地点を登録するときは、(→ P55)「地点を登録する (登録地・自宅)」を参照してください。
- 地図にアイコンを表示するときは、(→ P56)「登録地・自宅のアイコンを地図に表示する」を参照してください。

地図記号一覧

地図関連

- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- 発電所
- トンネル
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所
- 駐車場・道の駅
- ガソリンスタンド
- 銀行
- ファミリーレストラン
- ファストフード
- コンビニエンスストア
- カーディーラー
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- タワー・展望台
- 灯台
- 墓地
- 公共館など
- 警察署
- 消防署
- 官公庁・裁判所・大使館など
- 都道府県庁
- 市町村役場
- 自衛隊
- 米軍
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 学校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 幼稚園
- 保育園
- 自動車教習所
- 温泉
- 銭湯
- 遊園地・レジャーランド
- キャンプ場
- ゴルフ場
- 野球場
- スタジアム
- 体育館
- スキー場
- スケート場
- 海水浴場・プール
- ヨットハーバー
- サーフィングエリア
- モータースポーツ
- 美術館・博物館・図書館など
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- プラネタリウム
- ホール・劇場
- フォトポイント
- 神社
- 仏閣
- 教会
- 城・城跡
- 天然記念物など
- 陵墓・古墳
- 牧場
- 果樹園
- 倉庫
- 競馬場
- デパート
- スーパーマーケット
- 市場
- ショッピングセンター
- DIY
- リゾートホテル

ルート関連

- 目的地
- 経由地
- 出発地
- 誘導ポイント
- 信号機
- 案内中ルート（有料道）
- 案内中ルート（一般道）
- 自車位置（自動車モード）
- 自車位置（バイクモード）
- 自車位置（歩行者モード）

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

「メニュー画面」を表示する

「現在地画面」「地図スクロール画面」「ルート誘導画面」で[**メニュー**]をタッチすると「メニュー1画面」が表示されます。

▼

メニュー1画面

[**住所**] (→ P29)住所で探す。
[**電話番号**] (→ P31)電話番号で探す。
[**名称**] (→ P32)名称で探す。
[**周辺施設**] (→ P33)周辺施設を探す。
[**ジャンル**] (→ P34)ジャンルで探す。
[**登録地**] (→ P36)登録地から探す。
[**検索履歴**] (→ P37)検索履歴から探す。
[**自宅に戻る**] (→ P41)自宅へのルート探索を行う。

「メニュー2画面」を表示するときは、[**メニュー2**]をタッチします。

▼

メニュー2画面

[**マップコード**] (→ P38)マップコードで探す。
[**ナビ終了**] (→ P21)ナビゲーションを終了する。

メニュー画面でできる操作

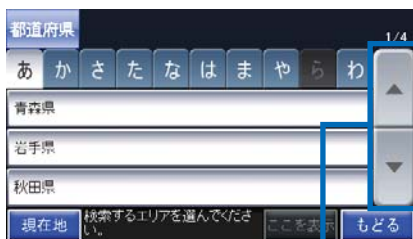
[**現在地**] メニューを終了して、「現在地画面」を表示します。
[**ルート確認**] (→ P40 ～ P53)設定したルート情報を確認します。
[**ナビ設定**] (→ P61 ～ P67)用途やお好みに応じて設定を変更します。
[**地図に戻る**] メニュー画面表示前の地図に戻ります。

メモ

- [**ルート確認**]は、ルートがある場合にのみ表示されます。

各設定画面の基本操作

リスト表示の画面操作

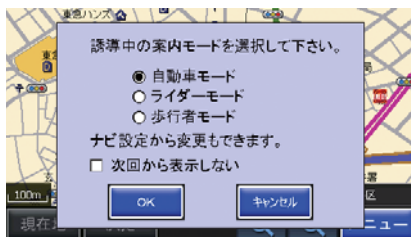
リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタンが画面に表示されます。
スクロールボタンにタッチすると、リストを上下にスクロールします。
画面右上には表示中のリストのページが表示されます。

[スクロール] ボタン

タブ表示の画面操作

都道府県、市区町村などでは、タブが画面に表示されます。
タブをタッチすると、選んだタブの住所リストを表示します。

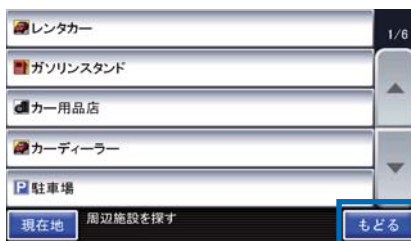
タブ

チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス(□)をタッチして選択または解除の操作を行います。

[現在地]

各画面で、**[現在地]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。

[もどる]

各画面で、**[もどる]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 [決定] をタッチする

4 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→ P40)「ルートを探索する」
[地点登録]：探した地点を登録します。(→ P55)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[現在地設定]：探した地点を現在地に修正します。(→ P58)「現在地を修正する」

住所で探す

住所で場所を探します。番地または号まで入力して探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [住所] をタッチする

3 「都道府県」をタッチする

4 「市区町村」をタッチする

メモ

● 住所に小字があるときは、**5**の「丁目」で小字を選択します。

5 「丁目」をタッチする

6 「番地」をタッチする

7 「号」をタッチする

▼

入力した住所を中心に「地点確認画面」が表示されます。

メモ

● 号までの地図情報がない場合は、「号」が表示されません。

8 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[現在地設定]：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

メモ

● 探した地点がピンポイントデータではない場合、代表地点の地図が表示されます。
● 入力が終了した「都道府県」、「丁目」等のタブをタッチすると、入力した内容をキャンセルしてタッチしたタブの入力画面に戻ります。
● 各画面で **[ここを表示]** をタッチすると、その画面までに選んだ住所の代表地点を表示します。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [電話番号] をタッチする

3 「数字」をタッチして電話番号を入力し、[決定] をタッチする

[削除]：入力した数字を一文字削除します。

▼

入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

4 リストから場所をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→ P40)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→ P55)「地点を登録する(登録地・自宅)」

[現在地設定]：探した地点を現在地に修正します。(→ P58)「現在地を修正する」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→ P39)「探した場所の地図を見る」

メモ

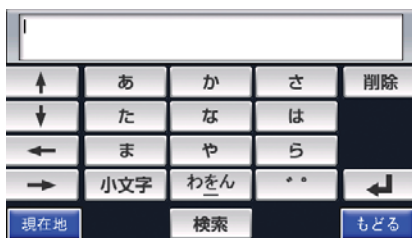
- 電話番号検索は法人電話帳などから検索されます。
- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 11 桁まで入力できます。
- 登録されていない電話番号の場合は、住所の代表地点などが表示されます。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [名称] をタッチする

3 キーボードで名称を入力する

- [あ] ～ [ら] は、各行を表します。入力したい文字の行と同じキーを何度かタッチしてください。同じ行の文字を続けて入力したいときは、[→] 右矢印キーをタッチして文字の入力位置を移動してください。
- 小文字を入力する時は、[小文字] をタッチしてから文字を入力してください。また、小文字の入力が終わったら、再度 [小文字] をタッチしてください。

矢印キーをタッチして、文字の入力する位置を変更できます。

入力の例 1：ろっぽんぎ

- [ら] 5 回＝ろ
- [小文字] 1 回→ [た] 1 回＝っ→ [小文字]
- [は] 5 回 → [″。] 2 回＝ぽ
- [わをん] 3 回＝ん
- [か] 2 回 → [″。] 1 回＝ぎ

⏎ 確定

入力の例 2：あおやま

- [あ] 1 回＝あ
- [→] 1 回 → [あ] 5 回＝お
- [や] 1 回＝や
- [ま] 1 回＝ま

⏎ 確定

文字の下に点線が出ている場合は、文字はまだ決定されていません。文字を決定するには ⏎ (確定) をタッチしてください。

4 名称の入力を終了してから [検索] をタッチする

メモ

- 検索対象の文字数は 2 文字から 20 文字までです。入力文字数が 2 文字未満、21 文字以上入力された場合はエラーメッセージが表示されます。
- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます。
- 文字入力を終了するには、キーボードで ⏎ (確定) をタッチします。

5 「都道府県」をタッチする

▼

入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

6 リストから地点をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

7 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」
[地点登録]：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」
[現在地設定]：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

周辺の施設を探す

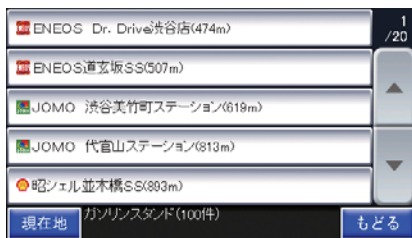
レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺（半径 10km）施設を 100 件まで探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［周辺施設］をタッチする

3 検索するジャンルをタッチする

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

4 リストから周辺施設をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

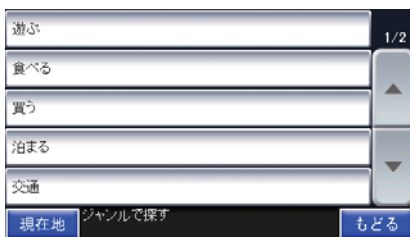
[ここへ行く]:探した地点を目的地に設定します。(→ P40)「ルートを探索する」
[地点登録]:探した地点を登録します。(→ P55)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[現在地設定]:探した地点を現在地に修正します。(→ P58)「現在地を修正する」
[地図を見る]:探した場所の地図を表示します。(→ P39)「探した場所の地図を見る」

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

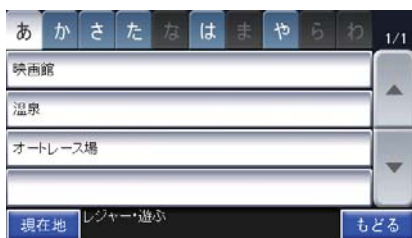
2 [ジャンル] をタッチする

3 探している施設のジャンルをタッチする

メモ

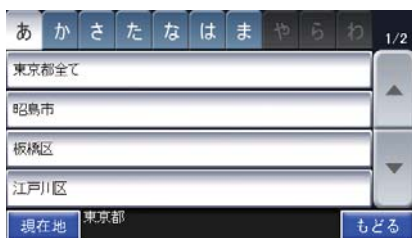
- 探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタッチしてください。
- 絞り込む必要がないジャンルは、「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

4 詳細なジャンルをタッチする

▼

選ぶジャンルによっては更に詳細なジャンルを選択する画面が表示されます。

5 「都道府県」をタッチする

6 「市区町村」をタッチする

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

7 目的の施設をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

8 操作する項目をタッチする

［**ここへ行く**］：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」

［**地点登録**］：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［**現在地設定**］：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」

［**地図を見る**］：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

登録した場所（登録地・自宅）から探す

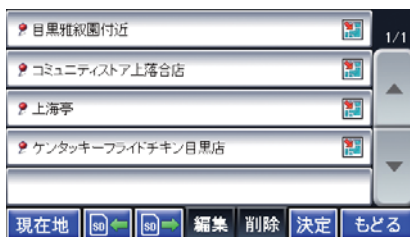
登録されている場所（登録地・自宅）から探すことができます。

メモ

- 登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。登録地については、（→P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」を参照してください。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［登録地］をタッチする

3 探している「登録地」をタッチし、［決定］をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

4 操作する項目をタッチする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［現在地設定］：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」

［地図を見る］：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

検索履歴から探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［検索履歴］をタッチする

3 検索履歴画面の「名称」をタッチする

▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

4 操作する項目をタッチする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［現在地設定］：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」

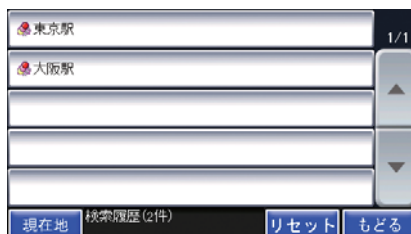
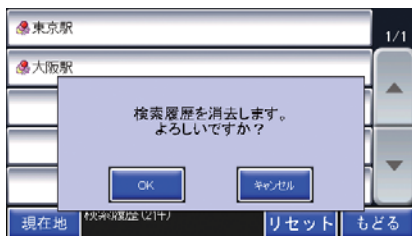
［地図を見る］：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

メモ

- 地点確認画面まで表示させた最新の検索履歴50件までが表示されます。50件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。
- 「検索履歴」で探した地点で、地点確認画面までの操作を行うと、この地点が最新の履歴として追加されます。

検索履歴を消去する

過去に検索した地点をすべて消去します。

1 「検索履歴画面」で［リセット］をタッチする

2 [OK] をタッチする

[キャンセル] をタッチした場合は、消去を中止し、「検索履歴画面」に戻ります。

▼

検索履歴が消去されます。

マップコードで探す

探す場所のマップコードを入力して探すことができます。
「マップコード」とは地図上の位置を簡単に特定できるコードナンバーです。
マップコードは雑誌やウェブなどに記載されています。

1 [メニュー] をタッチする

2 [メニュー 2] をタッチする

3 [マップコード] をタッチする

4 「数字」または「＊」をタッチしてマップコードを入力し、[**決定**] をタッチする

[**削除**]：入力した数字を一文字削除します。

▼

入力した地点を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[**ここへ行く**]：探した地点を目的地に設定します。（→ P40）「ルートを探索する」

[**地点登録**]：探した地点を登録します。（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[**現在地設定**]：探した地点を現在地に修正します。（→ P58）「現在地を修正する」

[**地図を見る**]：探した場所の地図を表示します。（→ P39）「探した場所の地図を見る」

メモ

- コメント欄にはマップコードと住所が表示されます。
- 地図移動ができない範囲や識別できない文字が入力された場合、「該当するデータがありませんでした。」と表示されます。
- 13 桁まで入力できます。

探した場所の地図を見る

1 場所を探す

地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 [**地図を見る**] をタッチする

▼

地図が表示されます。

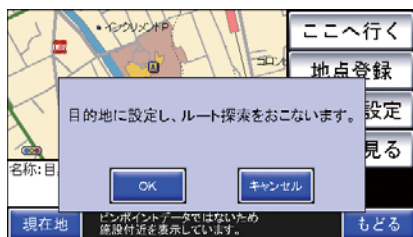
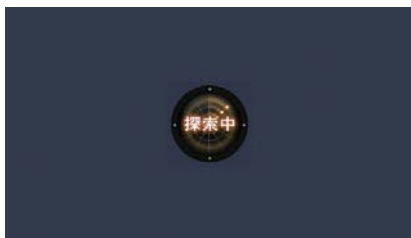
ルートを探索する

探した場所を行き先（目的地）として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、「ルート確認画面」が表示されます。

1 行き先を探す

地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 ［ここへ行く］をタッチする

3 ［OK］をタッチする

［キャンセル］をタッチした場合は、ルート探索をキャンセルします。

▼

▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**［有料道路］**または**［一般道路］**のどちらかを選びルートを設定します。

4 ルートを確認する

ルート情報

［誘導開始］：ルート誘導を開始します。（→ P45）「ルート誘導を開始する」

［ルート設定］：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。（→ P42）「探索条件を変更して再探索する」

［デモ走行］：探索したルートをデモ走行します。（→ P43）「ルートをデモ走行する」

［ルート削除］：探索したルートを削除します。（→ P43）「ルートを削除する」

［経由地追加］：立ち寄る場所を追加します。（→ P44）「経由地を追加する」

ルート情報

[料金]：行き先（目的地）までに利用する有料道路の料金を表示します。設定している車種に合わせた料金を表示します。
[時間]：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。
[距離]：行き先（目的地）までの距離を表示します。

メモ

- ルート確認画面の地図はルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。
- 「時間」は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、実際の移動速度で再計算し、最新の時速で一定の時間ごとに更新した「時間」を表示します。

自宅までのルートを探索する

現在地から自宅として登録している場所までをルート探索することができます。

メモ

- 登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。自宅については、（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」を参照してください。

1 [メニュー] をタッチする

2 [自宅に戻る] をタッチする

▼

▼

自宅までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

▼

［**誘導開始**］：ルート誘導を開始します。(→ P45)「ルート誘導を開始する」
［**ルート設定**］：ルート探索条件を変更して、ルートの探索をします。(→ P42)「探索条件を変更して再探索する」
［**デモ走行**］：探索したルートをデモ走行します。(→ P43)「ルートをデモ走行する」
［**ルート削除**］：探索したルートを削除します。(→ P43)「ルートを削除する」
［**経由地追加**］：立ち寄る場所を追加します。(→ P44)「経由地を追加する」

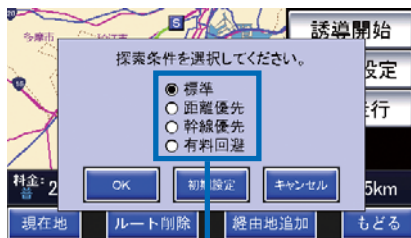
探索条件を変更して再探索する

ルートの探索条件を変更して、ルートを再探索します。

メモ

- 歩行者モードのときは操作できません。

1 「ルート確認画面」で［**ルート設定**］をタッチする

2 「探索条件」をタッチする

［**初期設定**］：探索条件を初期設定（標準）に戻します。
［**キャンセル**］：ルート設定を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

探索条件

［**標準**］：標準的な探索条件でルートを探索します。
［**距離優先**］：距離を優先してルートを探索します。
［**幹線優先**］：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
［**有料回避**］：有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 「ルート確認画面」で［**ルート削除**］をタッチする

2 ［OK］をタッチする

［**キャンセル**］をタッチした場合は、ルート削除を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

▼

ルートが削除されます。

ルートをデモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

1 ルート確認画面で［**デモ走行**］をタッチする

▼

ルート誘導を開始します。
デモ走行中は、GPS信号測位表示が「デモ走行中」に変わります。

「**キャンセル**」：デモ走行を中止し、ルート確認画面に戻ります。

経由地を追加する

探索したルートに経由地を追加（最大 5 か所）してルート設定できます。

1 ルート確認画面で［**経由地追加**］をタッチする

▼

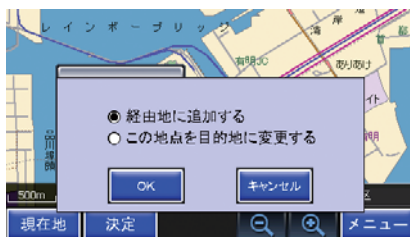
「メニュー 1 画面」が表示されます。

2 経由地の地図を表示して、［**ここへ行く**］をタッチする

地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 ［**経由地に追加する**］をタッチして、［**OK**］をタッチする

▼

経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・経由地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。［**有料道路**］または［**一般道路**］のどちらかを選びルートを設定します。
- ［**この地点を目的地に変更する**］をタッチし、［**OK**］をタッチすると目的地を再設定して「ルート確認画面」が表示されます。
- 手順 **3** で経由地を追加しても、誘導開始前に「ルート確認画面」にて［もどる］をタッチすると、その経由地をキャンセルできます。
- 誘導開始後は経由地の変更や順番の入れ替えはできません。誘導後に経由地を変更するときは、ルートを削除（（→ P53）「ルートを削除する」）してから新たにルート設定してから、経由地を追加してください。

ルートを変更する

ルート探索後に行き先を変更してルートを設定しなおすことができます。

1 変更する行き先を探す

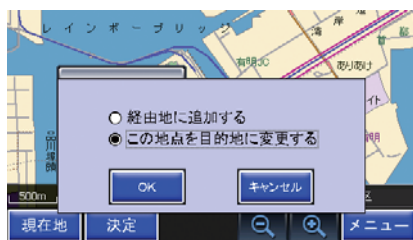
地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 [**ここへ行く**] をタッチする

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 [**この地点を目的地に変更する**] をタッチし、[**OK**] をタッチする

▼

目的地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。[**有料道路**] または [**一般道路**] のどちらかを選びルートを設定します。
- [**経由地に追加する**] をタッチし、[**OK**] をタッチすると経由地に設定します。

ルート誘導を開始する

ルートが決まったら、ルート誘導を開始します。

1 [**誘導開始**] をタッチする

2 移動を開始する

▼

移動を開始すると状況に応じて画面と音声でルート誘導を行います。目的地に近づくとルート誘導を終了し、ルートが削除されます。

ルート誘導中の案内について

ルート誘導を開始すると､「ルート誘導画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

自動車・歩行者モード

目的地方向表示
現在地と目的地を結んだ線で、目的地の方向を表示します。

方面看板 / レーン情報
案内中のルートの参考情報として方面看板と進行方向を案内するレーン情報を表示します。歩行者モード時は表示されません。

走行軌跡表示
地図上の通過したルートを表示します。

交差点名称
最も近い誘導地点の交差点名称を表示します。

ラリービュー
誘導地点を矢印で表示します。最も近い誘導地点までの距離が表示されます。

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。

目的地までの距離、到着予想時刻

GPS 信号測位状況表示
GPS 信号の測位状況を表示します。
未取得： GPS
2 次元測位： GPS
3 次元測位： GPS

スケール [+] [−]
地図のスケールを変更します。

[メニュー]
[メニュー] をタッチすると、「メニュー画面」に切り替わります。
(→ P27)「メニュー画面を表示する」

ライダーモード

地図表示

ラリービュー

メモ

- 誘導を開始すると、誘導中の地図を 100 mスケールで表示します。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 誘導中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わり、誘導中の地図を500 mスケールで表示します。(→ P49)「ハイウェイモード」
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 誘導中のルートは、一般道路は黄緑色、有料道路は水色で表示されます。
- 走行軌跡表示を表示しない設定にすることもできます。(→ P65)「走行軌跡表示を変更する」を参照してください。
- ルート誘導中に地図上をタッチすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタッチすると「ルート誘導画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内後誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。
  走行軌跡はクリア操作するまで表示されます。古い軌跡は上書きされます。
- 歩行者モードで誘導中は、最寄りの一般道路を利用します。
- アイコンを表示する縮尺は、1/6250 (50m) と 1/12500 (100m) のみです。

ラリービュー画面

自動車モード・歩行者モードでは、誘導地点までの距離に応じて、誘導矢印で方向を表示します。また、最も近い誘導地点までの距離がカウントダウンで表示されます。
ライダーモードでは、誘導が開始されるとラリービュー画面になります。

自動車・歩行者モード

「ラリービュー画面」では誘導矢印が最大 4 つ先まで表示されます。

誘導矢印

カウントダウン表示

誘導矢印が自動車：300 m、歩行者：30m ライン以下にある場合は、最も現在地に近い誘導矢印が赤色で表示されます。
自動車：700 m、歩行者：70m 以内に複数の誘導地点が存在する場合は、自動車：700 m、歩行者：70m ラインより下方向に複数の誘導矢印が表示されます。

メモ

- 自動車モードで誘導中は、701m 以上、1km 以内に誘導地点がある場合、1km ラインに誘導矢印が表示されます。
- 歩行者モードで誘導中は、71m 以上 100m 以内に誘導地点のある場合、100m ラインに誘導矢印が表示されます。

注意

- 自動車モード、歩行者モード、ライダーモードは細街路への探索ルートは対応しておりません。
- ルート設定後に誘導モードの変更は出来ません。
  誘導モードの変更をしたい場合は、ルート削除をしてください。

ライダーモード

ライダーモードでは誘導が開始されると、ラリービュー画面が常に画面右側に大きく表示されます。最大 3 つ先までの誘導矢印を表示します。

カウントダウン表示

誘導矢印　交差点名称

最も現在地に近い誘導矢印は、進行方向、現在地からの距離を表示します。現在地から 700m 以下になると、交差点名称が表示されます。300m 以内になると、赤色に変わります。
300m 以内の誘導地点が複数ある場合は、すべて赤色で表示されます。

また、最も現在地に近い誘導矢印をタッチすると、交差点名称、レーン表示、交差点拡大図(50m スケール)を全画面の地図表示で行い、案内ポイントの詳細情報を確認できます。地図表示の向きは北上固定になります。
画面にタッチすると誘導画面に戻ります。

誘導地点の手前に近づくと

自動車・ライダーモードは 300m 以内、歩行者モードは 30m 以内に近づくと交差点が拡大表示されます。

メモ

- ライダーモードで全画面に地図表示をしている場合は、700m または 300m の誘導地点を通過する際と、案内ポイントを通過した際(0m)は、一時的に誘導画面に戻ります。
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

ハイウェイモード

ルート誘導時に有料道路の入り口に近づくと、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替わります。

入口 300m 手前に近づくと

有料道路の入口 300m 手前から入口を通過するまで、左側に地図表示し、右側に入口イラストを表示して誘導します。

メモ

● 入口イラストのデータがない場合は、交差点オートズームが表示されます。

入口を通過すると

施設情報表示

［解除］

［施設送り］

目的地までの距離、到着予想時刻

［地図表示］

施設の情報を次の優先度で表示します。

1： ガソリンスタンド
2： 身障者用トイレ
3： レストラン
4： 土産物屋
5： 仮眠休憩所
6： インフォメーション
7： 風呂（温泉浴場）
8： FAX
9： 郵便ポスト
10： キャッシュディスペンサー

［施設送り］を 1 回タッチする度に、表示する案内地を 1 つ先に進めます（1 つ後に戻します）。

※ルート上の案内地のみ表示できます。**［施設送り］**をタッチすると、**［解除］**をタッチできるようになります。
［解除］をタッチすると、案内地表示が現在地を中心とした表示に変わります。

誘導地点 2km 手前に近づくと

音声で案内されます。
例：「およそ 2km 先、○○方面です。」

誘導地点 1km 手前に近づくと

音声で案内され、分岐イラストが表示されます。

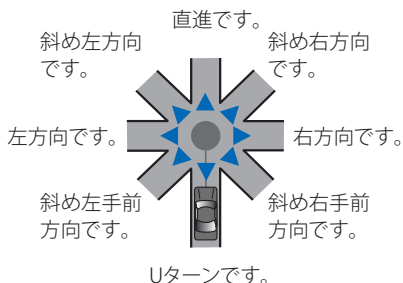
メモ

- 分岐イラストのデータがない場合は、分岐情報とレーン情報が表示されます。
- 分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。
- **[地図表示]** をタッチすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには **[現在地]** をタッチしてください。
  ※誘導を再開したとき、GPS で測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
  ※誘導再開時の現在地がルートから離れている場合はリルートを行います。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

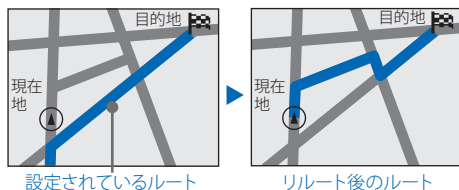
移動方向の誘導例

移動方向（8 方向）は、音声で以下のように誘導されます。

メモ

- 「目的地」、「経由地」、「有料道入口・出口」、「料金所」、「合流地点」、「側道」、「踏み切り」の手前で音声案内を行ないます。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージで案内されます。

設定されているルート　リルート後のルート

メモ

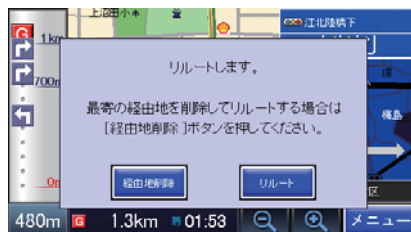
- リルートの条件は変更できます。
  (→ P62)「リルートの設定を変更する」を参照してください。

注意

- 以下の道を走行した場合、オートリルートで再検索されませんのでご注意ください。
  - 細街路(道幅 5.5m 未満または通常の自動車がすれ違える道路であっても、対象となっている場合があります。)
  - 新規道路
  - スマート IC 等

経由地が設定されている場合

リルートするときに経由地が設定されている場合、最寄りの経由地を削除してリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。

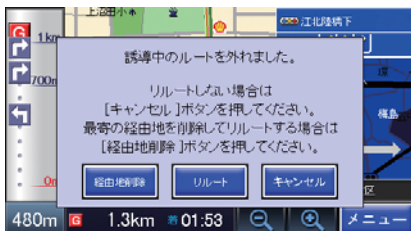
1 リルートする項目をタッチする

[経由地削除]：最寄りの経由地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの経由地を経由してリルートします。

メモ

- 「確認ダイアログ画面」表示後、一定時間が経過すると「確認ダイアログ画面」を閉じて、リルートが行われます。

リルートを「手動」に設定している場合

リルートを開始するときに、リルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。

1 [リルート] をタッチする

[経由地削除]：最寄りの経由地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの経由地を経由してリルートします。
[キャンセル]：リルートをキャンセルします。

▼

リルートが行われます。

メモ

- 「確認ダイアログ画面」表示後、一定時間経過するとリルートされずに「確認ダイアログ画面」を閉じます。
- リルートをキャンセルすると、「ルート誘導画面」の表示はそのままで誘導情報の一部（ラリービュー、目的地までの距離、到着予測時刻、交差点名称の表示と音声案内）が解除され、画面左下に [リルート] が表示されます。[リルート] をタッチするとリルートが行われます。

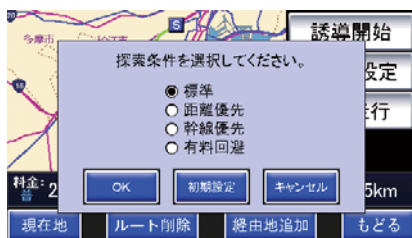
条件を変えてルートを探索させる

案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [ルート確認] をタッチする

3 [ルート設定] をタッチする

4 「探索条件」をタッチし、[OK] をタッチする

[標準]：標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。
[幹線優先]：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]：有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

▼

選んだ探索条件でルートを再探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

ルート誘導中に案内を途中で終了することができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [ルート確認] をタッチする

3 [ルート削除] をタッチする

4 [OK] をタッチする

▼

ルートが削除されます。

経由地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を経由するルートを案内させることができます。経由地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

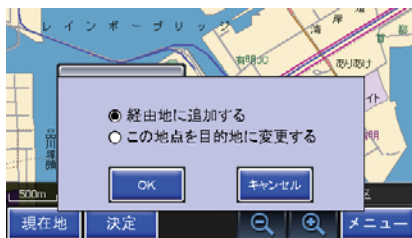
1 経由地に設定する行き先を探す

地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 ［ここへ行く］をタッチする

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 「経由地に追加する」をタッチし、[OK] をタッチする

▼

経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・経由地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。
- **「この地点を目的地に変更する」**をタッチし、[OK] をタッチすると目的地を変更します。

4 ルートを確認する

[誘導開始]：ルート誘導を開始します。(→ P45)「ルート誘導を開始する」
[ルート設定]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。(→ P42)「探索条件を変更して再探索する」
[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。(→ P43)「ルートをデモ走行する」
[ルート削除]：探索したルートを削除します。(→ P43)「ルートを削除する」
[経由地追加]：ルート上に立ち寄る場所を追加します。(→ P44)「経由地を追加する」

メモ

- 経由地は最大 5 つまで登録できます。登録した順に経由地が追加されます。

経由地を削除 / 変更する

設定した経由地のみを削除または変更することはできません。
経由地を削除または変更する場合は、ルートを削除((→ P53)「ルートを削除する」)してから新たにルート探索します。

地点を登録する（登録地・自宅）

自宅やよく行く場所を（自宅 1 件、地点 200 件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点は、名称、コメント、アイコンの情報を登録することができます。

1 登録したい地点を探す

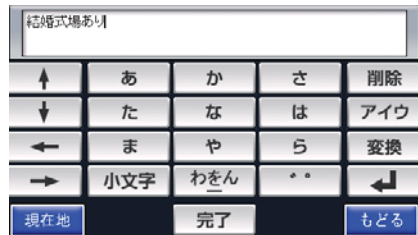
地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 ［地点登録］をタッチする

3 「名称」または「コメント」の入力ボックスをタッチする

▼

キーボードが表示されます。

4 名称とコメントを入力し、キーボードで⏎キーをタッチしてから［完了］をタッチする

文字の下に点線が出ている状態で［変換］をタッチして、入力したい文字を表示します。文字を決定するには⏎（確定）をタッチしてください。
キーボードの入力方法の詳細は、（→ P32）「名称で探す」を参照してください。

5 「アイコン表示」をタッチし、プルダウンメニューからアイコンを選ぶ

アイコン表示

6 自宅として登録するときは、［自宅］をタッチする

▼

チェックボックスにチェックマークが表示されます。

7 ［登録］をタッチする

8 [OK] をタッチする

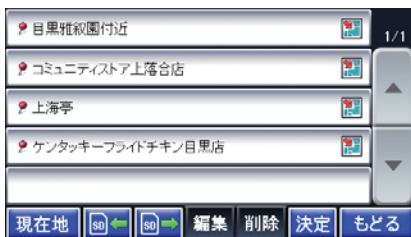
[**キャンセル**] をタッチした場合は、地点の登録をキャンセルします。

メモ

- 自宅が既に登録されている状態で自宅登録をする場合は、自宅を変更するかのダイアログ画面が表示されます。

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

9 **登録地のリストを確認する**

[**編集**]：タッチした登録地を編集します。(→ P57)「登録地を編集する」

[**削除**]：タッチした登録地を削除します。(→ P57)「登録地を削除する」

[**決定**]：タッチした登録地を行き先に設定します。

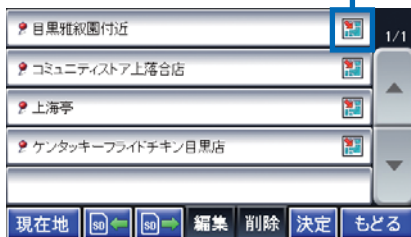
メモ

- 名称の入力文字数は 40 文字まで、コメントの入力文字数は 150 文字までです。
- 選択できるアイコンは 10 種類です。
- 並び順はアイコンの種類、登録日時によって変更されます。自宅はリストの一番目に登録されています。

登録地・自宅のアイコンを地図に表示する

地点（登録地または自宅）を登録しておくと、地図にアイコンを表示できます。(→ P55)「地点を登録する（登録地・自宅）」

1 [**地図反映**] をタッチする

地図反映

メモ

- 初期状態では、自宅アイコンは地図に反映、登録地アイコンは地図に非反映となります。
- アイコンが地図に表示されている地点は、[**地図反映**] の色が変更されます。
- 表示できるアイコンは最大 50 件です。50 件を越えた場合は、[**地図反映**] はタッチできなくなります。

登録地を編集する

登録地を編集することができます。

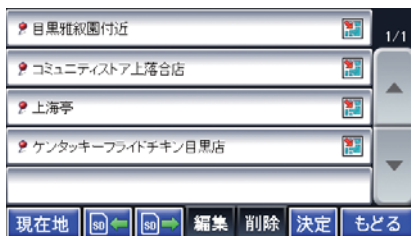
1 ［メニュー］をタッチする

2 ［**登録地**］をタッチする

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 編集する登録地をタッチし、［**編集**］をタッチする

▼

以降の操作は（→ P55）「地点を登録する（登録地・自宅）」の手順 **3** から **8** を参照してください。

登録地を削除する

不要になった登録地を削除することができます。

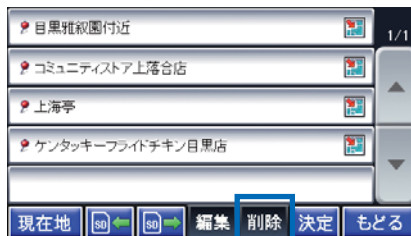
1 ［メニュー］をタッチする

2 ［**登録地**］をタッチする

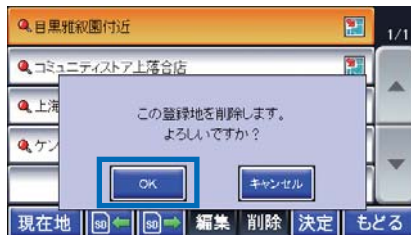
▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 削除する登録地をタッチし、［**削除**］をタッチする

▼

「確認ダイアログ画面」が表示されます。

4 ［OK］をタッチする

▼

登録地が削除されます。

現在地を修正する

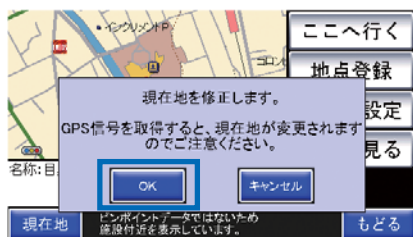
GPS 衛星を受信していない場所で、事前の旅行計画などを立てる目的で、自車位置を変更できる機能です。

1 現在地に修正する場所を探す

地図画面で探す→ P29
住所で探す→ P29
電話番号で探す→ P31
名称で探す→ P32
周辺施設で探す→ P33
ジャンルで探す→ P34
登録地・自宅で探す→ P36
検索履歴で探す→ P37
マップコードで探す→ P38

2 [現在地設定] をタッチする

3 [OK] をタッチする

▼

「現在地画面」が表示されます。

注意

- 室内など GPS が受信できない環境でご利用ください。GPS が受信状態になると、GPS が示す位置に自車位置が表示されます。
- この機能は GPS 衛星の誤作動や現在地のズレを修正する機能ではありません。

登録地を本体から microSD カードへコピーする

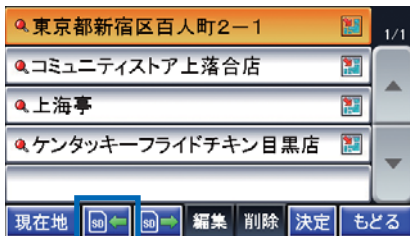
登録地の情報を microSD メモリーカードに送り、コピーする（書込む）ことができます。
コピーは、本体内の登録地全件を対象とします。

1 ［メニュー］をタッチする

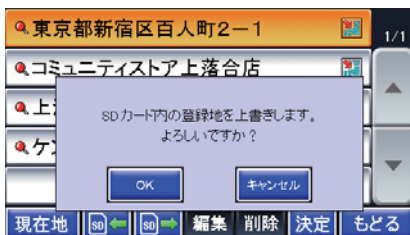
2 ［登録地］をタッチする

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 ［microSD 書込み］をタッチする

microSD 書込み

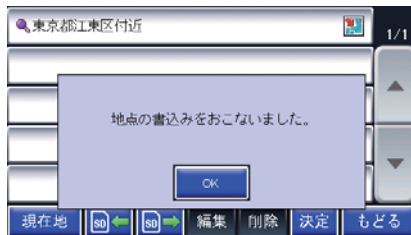
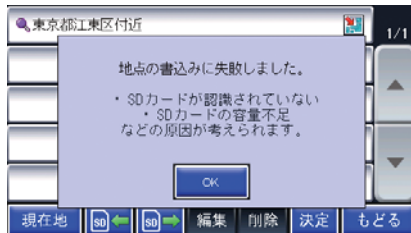
▼

microSD カードの中に上書きされる登録地データがある場合、確認ダイアログ画面が表示されます。

［OK］：登録地を上書きします。

［キャンセル］：コピーを中止し、「登録地リスト画面」に戻ります。

コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

4 コピー結果が通知される

microSD メモリーカードに登録地がコピーされた場合

microSD メモリーカードに登録地がコピーされなかった場合

メモ

- microSD カード内に既に登録地データがある場合は上書きされてしまいます。そのためバックアップをとることをお勧めします。

登録地を microSD カードから本体へコピーする

microSD メモリーカードに保存した登録地の情報をコピーする（読込む）ことができます。
コピーは、microSD メモリーカード内の登録地全件を対象とします。また、本体に保存されている登録地への上書きは行いません。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［登録地］をタッチする

メニュー－1 メニュー－2
住所 電話番号 名称 周辺施設
ジャンル 登録地 検索履歴 自宅に戻る
現在地 ルート確認 ナビ設定 地図に戻る

▼

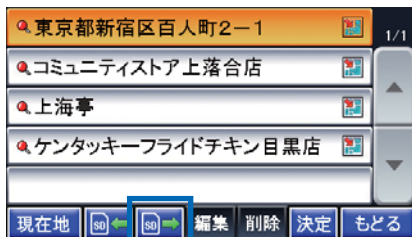
「登録地リスト画面」が表示されます。

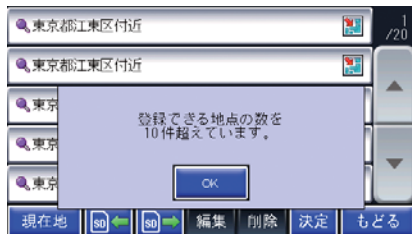
3 ［microSD 読込み］をタッチする

東京都新宿区百人町2－1
コミュニティストア上落合店
上海亭
ケンタッキーフライドチキン目黒店
1/1
現在地 編集 削除 決定 もどる

microSD 読込み

▼

注意

- 読込む登録地の数が多い場合は、エラーダイアログ画面が表示されます。表示される件数以上を削除することで、登録地の読込みが可能になります。

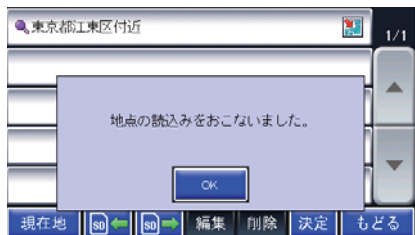
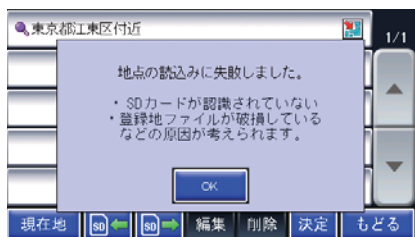
東京都江東区付近
東京都江東区付近
1/20
登録できる地点の数を10件超えています。
OK
現在地 編集 削除 決定 もどる

コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

4 コピー結果が通知される

本体に登録地がコピーされた場合

東京都江東区付近
1/1
地点の読込みをおこないました。
OK
現在地 編集 削除 決定 もどる

本体に登録地がコピーされなかった場合

東京都江東区付近
1/1
地点の読込みに失敗しました。
・SDカードが認識されていない
・登録地ファイルが破損している
などの原因が考えられます。
OK
現在地 編集 削除 決定 もどる

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

- ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- ［**現在地**］をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- ［**もどる**］をタッチすると、前の画面に戻ります。

ルート探索条件の設定を変更する

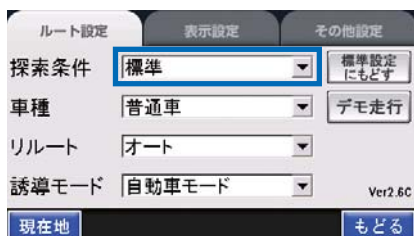
メモ

- 誘導モードを「歩行者モード」に選んでいるときは、設定を変更できません。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［ルート設定］をタッチする

4 「探索条件」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**標準**］：標準的な探索条件でルートが探索されます。
［**距離優先**］：距離を優先してルートが探索されます。
［**幹線優先**］：主要道路を優先してルートが探索されます。
［**有料回避**］：有料道路を極力回避したルートが探索されます。

5 ［現在地］をタッチする

▼

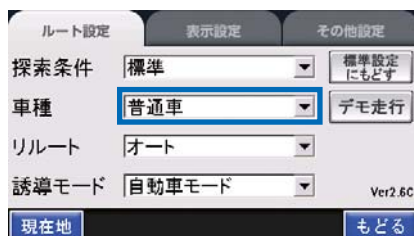
設定を終了します。

車種の設定を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［ルート設定］をタッチする

4 「車種」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**中型車**］：有料道路の料金を中型車として計算します。
［**普通車**］：有料道路の料金を普通車として計算します。
［**軽自動車**］：有料道路の料金を軽自動車として計算します。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 誘導中のルートがあるときは、変更できません。
- 誘導モードが歩行者となっているときは、変更できません。
- 表示される有料道路の料金は、走行する日時や特別な料金設定などの条件により、実際の料金は異なる場合があります。

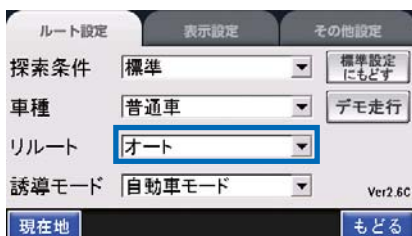
リルートの設定を変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [ルート設定] をタッチする

4 「リルート」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

ルート設定	表示設定	その他設定
探索条件	標準	標準設定にもどす
車種	普通車	デモ走行
リルート	オート	
誘導モード	自動車モード	Ver2.6C
現在地		もどる

[オート]：誘導中のルートからはずれた場合、ナビゲーション・ソフトがルートからはずれたと判断すると自動的にリルートを行い、目的地までのルートを探索し直します。

[手動]：リルートの開始を手動で行います。

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- リルート設定で「手動」にした場合、誘導中にルートを外れると「ルートからはずれました」の案内と同時にリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。[**リルート**] をタッチすると、リルートが行われます。

誘導モードの設定を変更する

メモ

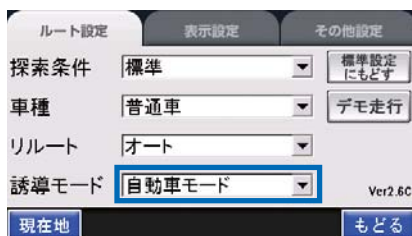
- 案内ルートがある場合は、自動車・ライダーモード⇔歩行者のモード切替はできません。

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [ルート設定] をタッチする

4 「誘導モード」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

ルート設定	表示設定	その他設定
探索条件	標準	標準設定にもどす
車種	普通車	デモ走行
リルート	オート	
誘導モード	自動車モード	Ver2.6C
現在地		もどる

[自動車モード]：自動車の運転に必要な情報が誘導中に表示されます。

[ライダーモード]：バイクを運転中にルート情報をわかりやすくするために、誘導中はラリービューが大きく表示されます。

[歩行者モード]：歩行時に必要な情報が誘導中に表示されます。

5 [現在地] をタッチする

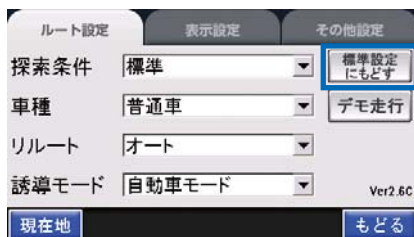
▼

設定を終了します。

設定をご購入時の状態に戻す

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［標準設定にもどす］をタッチする

4 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

● 「ナビ設定画面」で設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。

デモ走行でルート誘導を確認する

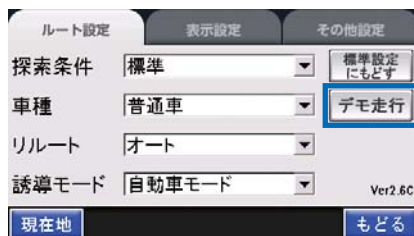
デモ走行で確認できるルート誘導は、あらかじめインストールされているルートのデータが使用されます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［ルート設定］をタッチする

4 ［デモ走行］をタッチする

▼

「デモ走行画面」が表示され、デモ走行を開始します。

5 ［キャンセル］をタッチする

▼

デモ走行を中止します。

ハイウェイモードでデモ走行を行っている場合は、［地図表示］をタッチして、地図表示に戻ってから［キャンセル］をタッチしてください。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

地図の配色を変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [表示設定] をタッチする

4 「配色」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

[時刻連動]：日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えて、時刻に適した配色で表示します。
[昼]：昼の移動に適した配色で表示します。
[夜]：夜の移動に適した配色で表示します。
[屋外]：明るい屋外の移動に適した配色で表示します。

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

地図表示の向きを変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [表示設定] をタッチする

4 「地図方向」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

[走行方向(ヘディングアップ)]：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
[北上固定(ノースアップ)]：常に北が上になるように地図が表示されます。

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

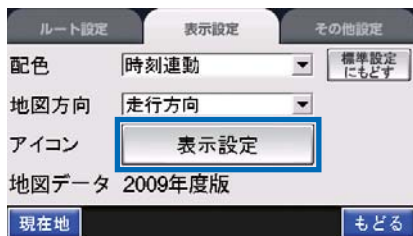
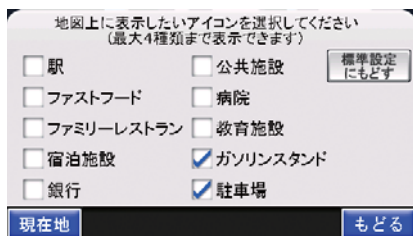
- 「走行方向(ヘディングアップ)」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。**[現在地]** をタッチして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［表示設定］をタッチする

4 「アイコン」の［表示設定］をタッチする

5 地図上に表示したいアイコンのチェックボックスをタッチする

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

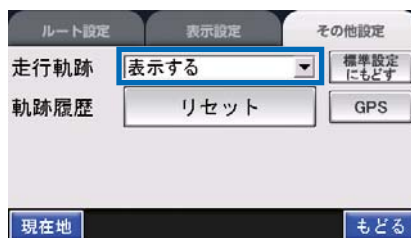
- ご購入時､「ガソリンスタンド」と「駐車場」が選択されています。
- 選択できるアイコンは 4 つまでです。アイコンを 4 つ選んだ後、他のアイコンを選ぶ場合は、不要なアイコンのチェックをはずしてから新たなアイコンを選んでください。
- この設定画面で［**標準設定にもどす**］をタッチすると、アイコン表示のみがご購入時の状態に戻ります。

走行軌跡表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［その他設定］をタッチする

4 「走行軌跡」のボックスをタッチして、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**表示する**］：走行軌跡を表示します。
［**表示しない**］：走行軌跡を表示しません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- スケール表示が 500m 以上の場合、走行軌跡は表示されません。

注意

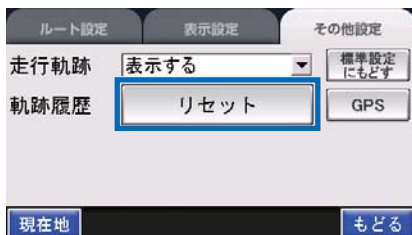
- 走行軌跡を確認する場合は、電源を切らずにご確認ください。本機の設定では一度電源を切ってしまいますと、走行軌跡が消去されてしまいます。

走行軌跡を消去する

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [その他設定] をタッチする

4 [リセット] をタッチする

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- この機能は、電源を切らずに「走行軌跡」を消去する事ができます。
  また、本機の電源を切れば「走行軌跡」は自動的に消去されます。

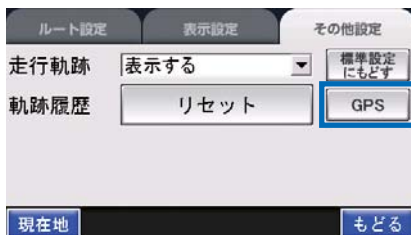
GPS の測位状態を確認する

1 [メニュー] をタッチする

2 [ナビ設定] をタッチする

3 [その他設定] をタッチする

4 [GPS] をタッチする

▼

「測位状態表示画面」が表示されます。

衛星測位状態

詳細情報

衛星測位状態

測位できた GPS の個数が表示されます。

詳細情報

測位データから緯度、経度、方向、速度、高度、測位が表示されます。

5 [現在地] をタッチする

▼

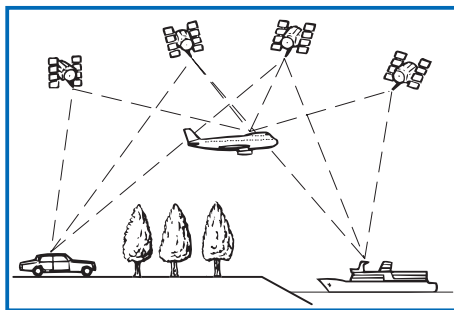
「現在地画面」に戻ります。

メモ

- 通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位をおこない現在地を表示します。
  しかし、初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに、10～20分程度かかることがあります。現在地が表示されるまで移動しないでください。
- 電波状況が悪い状態では、GPS衛星の測位に時間がかかる場合があります。
  その場合、屋外の見晴らしのよいところに移動してください。

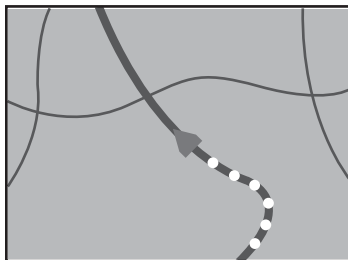
ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。
GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

種類	内容
3 次元測位 GPS	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位 GPS	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。
未取得 GPS	GPS 衛星の電波を受信できていない。

マップマッチング

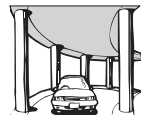
GPS による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中や
ビルの駐車場

2層構造の高速道路
の下

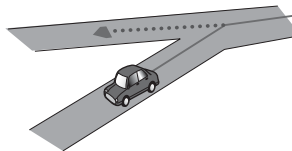
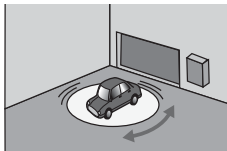
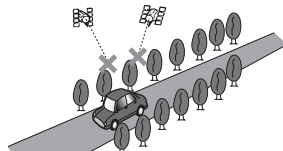
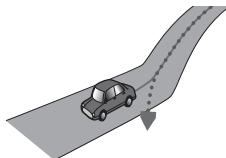
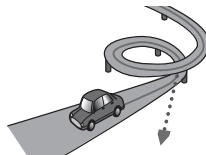
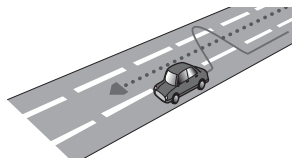
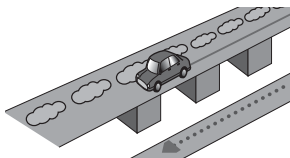
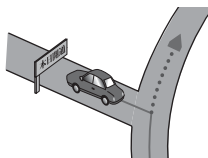
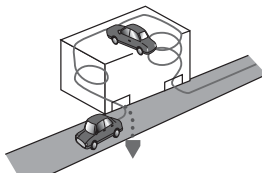
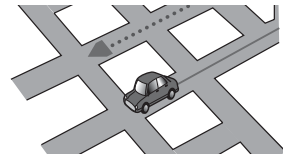
高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信している。
  ※GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉(受信)できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。
- ヘアピンカーブが続いた場合。
- ループ橋などを通った場合。
- 蛇行運転をした場合。
- 道路が近接している場合(有料道路と側道など)。
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。
- 碁盤の目状の道路を走った場合。
- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売(株)」の「Bellemax」より約740万件のデータが収録されています。

アイコン表示について

- アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に移動すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。
移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 出発地、目的地、経由地が細街路(5.5m以下)上、またはその近辺にある場合、最寄りの広い道路からルートが探索されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避では、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

ルート確認画面での有料道路料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、その道路の料金は合計料金に含まれません。
- 料金計算ができないルートの場合は、「****」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、誘導されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

地図データについて

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認90-063）［2008年9月発行データ使用］
- 新刊地形図更新は2008年9月刊行分を反映しました。
- 通常地図は2009年4月1日までに供用、廃止される情報まで対応します。但し、2008年10月調査時点で取得できた情報までとします。
- 住所データについては2008年10月時点の住所マスターデータを使用します。
  先行取得した住所の行政区域コードについては、独自コードでの対応を行います。
- 市区町村合併につきましては、2009年4月1日施行分まで対応します。但し、2008年10月時点で取得できた情報までとします。
- 背景・注記データについては、2009年4月1日までに供用・廃止される情報まで対応します。但し、2008年10月調査時点で取得できた情報に限ります。
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

道路データについて

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認90-063)[2008年9月発行データ使用]
- 本製品に使用している交通規制データは、2008年9月独自調査の結果を反映したものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事は出来ません。
- 新規開通高速道路は2008年9月の調査時点で2009年4月1日までに供用される新規道路を収録の対象とします。(但し、道路形状と基本的属性のみとなります)路線名称未定の路線については、仮名称で対応します。
- 信号機データは2008年9月独自調査の結果を反映します。
- 一般道方面看板は2008年9月独自調査の結果を反映します。
- レーン情報は2008年9月独自調査の結果を反映します。
- 高速道路(有料道路を含む)料金表データは2008年9月調査で2009年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得します。
- 高速施設は2008年9月調査で2009年4月1日時点に供用されている施設を取得します。
  名称未定の施設については仮名称にて対応します。
- 一般有料道料金所位置データは2008年9月調査時点のものを取得します。
- 踏切データはDRMAデータを基に、2008年9月までの独自調査データを取得します。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。

注意事項

- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車、歩行者等の規制は含まれておりません。
  あらかじめご了承ください。

その他記載

- libjpeg
  This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ワンセグ TV メニューについて

重要

- 自動車を運転中に本機でワンセグ TV を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。

信号強度
受信しているワンセグ TV 用電波の強さを表します。

時刻表示
現在の時刻を表示します。

ファイルリスト表示
録画されたワンセグ画像をリスト表示します。

チャンネル表示
現在の受信中のチャンネル番号を表示します。

設定ボタン
このボタンをタッチすると、チャンネル、基本設定（音声、字幕）、画面サイズの設定およびバージョンの確認と初期化を行うとができます。

音量レベル表示
音量のレベルを表示します。

消音・音声ボタン
ここをタッチすると音声を消すことができます。再度タッチすると音声が出ます。

音量－ボタン
ここをタッチすると音量を 1 つ下げます。

EPG ボタン
EPG メニュー画面が表示します。

■ボタン
このボタンをタッチすると、ワンセグ録画を停止します。また、再生中のワンセグ録画を停止し、ワンセグの受信に戻ります。

音量＋ボタン
ここをタッチすると音量を 1 つ上げます。

戻るボタン
ここをタッチすると、メインメニューに戻ります。

キャプチャーボタン
ここをタッチするとワンセグ TV の画像スナップショットを写真画像として保存します。

録画ボタン
ここをタッチするとワンセグ動画を録画します。

II ボタン
このボタンをタッチすると、再生中のワンセグ録画を一時停止します。

CH ▲ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ前のチャンネルに戻ります。続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ前のチャンネルに戻っていきます。

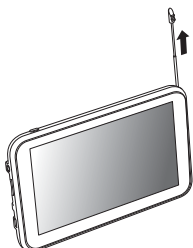
CH ▼ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ先のチャンネルに移ります。続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ先のチャンネルに移っていきます。

メモ

- EPG メニュー画面について
  TV アンテナで放送を受信しますと画面の右上に「日付」が表示されます。

ワンセグ TV を視聴する前の準備

ワンセグ TV を視聴する前に、お使いになる地域に合わせて、チャンネルを設定する必要があります。

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

アンテナを引き出す時は、無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。

▼

ワンセグ TV 用アンテナは最後まで確実に引き出してください。

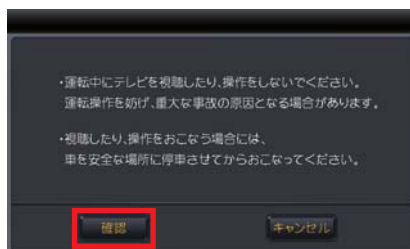
2 メインメニューを表示させて
［ (**ワンセグ TV**)］をタッチする

注意

- ワンセグ用アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。
アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

3 ワンセグを視聴しても問題のないときは、［**確認**］をタッチする

・運転中にテレビを視聴したり、操作をしないでください。
運転操作を妨げ、重大な事故の原因となる場合があります。
・視聴したり、操作をおこなう場合には、
車を安全な場所に停車させてからおこなってください。
確認　キャンセル

▼

これでワンセグが視聴できる状態になりました。
必要に合わせてチャンネルやその他の設定を行ってください。

注意

- **車の運転中や歩行中にワンセグ TV の操作はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

メモ

- 始めてワンセグをお使いの時は､「受信できません」と表示されることがあります。全ての地域またはお住まいの地域を選択して受信できる局を検索してください。局の検索方法は、(→ P75)「チャンネルを設定する」を参照してください。

注意

- 放送局は「地デジ化」に対応するため、各地域の放送局やチャンネルが変わることがあり､地域設定で受信できない場合があります。希望のチャンネルが受信できない場合は､［スキャン］を実行してください。

チャンネルを設定する

お使いになる地域に合わせてチャンネルを設定することができます。

メモ

- ワンセグ TV の状態により、手順 **2** のチャンネルの設定が表示されることがあります。その場合は、手順 **2** より設定を進めてください。

1 ワンセグメニューの［ ］をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に変わります。

2 ［**地域**］をタッチする

▼

地域設定の表示画面に変わります。

3 本機をお使いになる「地方」、「地域」の順にタッチする

4 スキャンをタッチする

完了が表示されるまでお待ちください。

5 ［**適用**］をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に戻ります。

どの地域に設定すればよいか、わからない場合には以下を実行してください。

1 ワンセグ TV メニューの［ ］をタッチする

ワンセグ設定メニューが表示されます。

2 地域選択で ALL を選択する

3 ワンセグ設定メニューの［**スキャン**］をタッチする

全チャンネルの検索を行います。
受信できるチャンネルが自動的にチャンネルリストに追加されていきます。

4 スキャンが完了したら［**適用**］をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に戻ります。

ワンセグ TV を視聴する

注意

- **車の運転中や歩行中にワンセグ TV の視聴、操作はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

2 マルチメディアアメニューを表示させて [(**ワンセグ TV**)] をタッチする

3 ワンセグを視聴しても問題のないときは、[**確認**] をタッチする

▼

EPG メニュー画面が表示されます

ワンセグ TV メニューにしたい場合は、縮小されている画面にタッチするか、[**戻る (←)**] をタッチします。

4 チャンネルを変えるには、ワンセグ TV メニューの [▼] または [▲] をタッチする

選んだチャンネルが表示されます。

5 音量を調整するには、ワンセグ TV メニューの [+] または [−] をタッチする

[ ] をタッチすると音声を消したり、出したりすることができます。

6 ワンセグ TV を終了するには、ワンセグ TV メニューの [ ] をタッチする

メインメニューが表示されます。

メモ

- 設定のユーザーモードを運転者席モード (→ P104) に設定した場合、本機が走行中と判断すると警告が表示され、ワンセグ TV はみられません。
- EPG メニューを使って、視聴する局を選ぶこともできます。(→ P78)
- EPG メニュー画面について
  TV アンテナで放送を受信しますと画面の右上に「日付」が表示されます。

ワンセグ TV 画面を切り替える

ワンセグ TV 画面をタッチする事で、メインメニュー、EPG メニュー、ワンセグ TV の全画面表示を切り替える事ができます。

メインメニューで
ワンセグ TV 画面をタッチ

▼

ワンセグ TV を全画面表示
ワンセグ TV 画面をタッチ

▼

EPG メニューを表示
ワンセグ TV 画面をタッチ

▼

メインメニューに戻る

視聴中の局の情報を見る

視聴中の局に関する番組表などの EPG（Electronic Program Guide：電子番組表）情報を見ることができます。

1 ワンセグ TV メニューを表示する

2 [ ] をタッチする

視聴中の番組表に変わります。

▼

3 ワンセグ TV メニューに戻るには、縮小されている画面にタッチするか、［**戻る**（←）］をタッチする

メモ

- 局により EPG に表示される内容が違う場合があります。また、実際の放送と EPG に表示される番組が違うこともあります。
- 番組名の左に表示される［ ］をタッチすると番組の情報が見られます。ただし、番組により情報が無い場合もあります

EPG メニューを使って視聴する

EPG メニューから視聴する局を選ぶこともできます。

1 EPG メニューを表示する

2 EPG メニュー右側のチャンネルリストから希望のチャンネルをタッチする

表示されていないチャンネルは、チャンネルリストバーの［▲］または［▼］をタッチして、表示することができます。

3 ワンセグ TV メニューに戻るには、縮小されている画面にタッチするか、［**戻る**（←）］をタッチする

ワンセグ TV の設定を変更する

音声多重放送の出力方法、字幕のオン・オフ、視聴地域の設定の変更を行います。

1 ワンセグ TV メニューを表示する

2 ワンセグ TV メニューの［ ］を タッチする

ワンセグ設定メニューの表示画面に変わります。

3 設定する内容に合わせ、各項目をタッチする

［チャンネル］：
ご覧になる地域に合わせてチャンネルを変更できます。チャンネルの設定方法は(→P75)「チャンネルを設定する」をご覧ください。

［基本設定］：
- 「音声」は主（主音声のみ）、副（副音声のみ）、主＋副（主音声と副音声同時）
- 「字幕」はオン（字幕あり）、オフ（字幕なし）

［画面サイズ］：
フル、レターボックス

［情報］：
- ワンセグのバージョン情報
- 「初期化」をおこないます。

注意
- 全ての機能が初期化されるわけではありません。

4 ［戻る（←）］をタッチする

メモ
- 字幕をオン（字幕設定オン）にしても、視聴する番組によっては、字幕の無いものもあります。
- 副音声は番組により無い場合があります。

ワンセグ TV を録画/キャプチャーする

ワンセグ TV を視聴しながら録画したり、画面をキャプチャー(スナップショット)することができます。

1 ワンセグ TV メニューを表示する

2 録画するには、[●] をタッチする

3 録画を停止するには、[■] をタッチする

4 画面をキャプチャーするには [📷] をタッチする

表示中の番組は本体内部メモリーに保存されます。

注意

- 本機で録画した番組は、個人でお楽しみなる場合にのみご視聴いただけます。
- 録画やキャプチャーしたデータは本体内部メモリーに保存されます。
  本体から取り出す事はできません。
- 録画中に「メインメニュー画面」に戻ってしまうと録画が中断されてしまいます。

メモ

- 本機のメモリーが充分に残っていないと、録画が途中で終わることがあります。
- キャプチャーした画面(スナップショット)は写真の再生と同じ方法で見ることができます。

録画したワンセグ TV を見る

録画したワンセグ TV を見るには

1 ワンセグ TV メニューを表示する

2 [📁] をタッチする

ワンセグ TV の録画リストが表示されます。

3 録画リストから視聴したい番組をタッチし選択してから、[OK] をタッチする

録画の再生が始まります。再生は自動的に繰り返し行われます。

4 再生を一時停止するには、[❚❚] をタッチする

- 表示が [❚❚] から [▶] に変わります。
- [▶] をタッチすると、再生が再開されます。

5 再生を停止するには、[■] をタッチする

メモ

- 録画を削除したい場合は、手順 **3** にて削除したい番組をタッチして選択してから [削除する] をタッチしてください。ファイルを削除するメニューが表示されますので、削除する場合は [はい] をタッチしてください。削除しない場合は [いいえ] をタッチしてください。
- 削除した番組を復活することはできません。削除してよい番組かよく確認してから削除してください。

スナップショットを見るには

キャプチャーした画面は写真の再生と同じ方法で見ることができます。

1 メインメニューの 写真 をタッチする

写真ファイルリストが表示されます。

2 写真リストから［Snapshot］をタッチする

3 見たいスナップショットをタッチする

写真の詳しい再生方法は（→ P95）「再生する写真を選ぶ」をご覧ください。

データの再生と本機の設定

バッテリー残量 / 充電表示
バッテリーの残量を表示します。

- ：電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。
- ：充電中です。バッテリー残量表示が左から右に移動します。
- ：充電完了です。
- ：充分に充電されている状態です。

microSD カード表示

- ：microSD カード有
- ：microSD カード無

時刻
GPS 衛星を受信した情報を元に時刻を表示します。

ワンセグ TV（P73）
ワンセグ TV を見るときには、ここをタッチします。

動画再生（P86）
動画を再生するには、ここをタッチします。

ナビゲーション（P20）
ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

音楽再生（P90）
音楽を再生するには、ここをタッチします。

設定（P98）
システム設定の変更をするには、ここをタッチします。
設定メニューが表示されます。

写真再生（P94）
写真を再生するには、ここをタッチします。

注意

- 動画再生、音楽再生、写真再生またはシステム設定を行う場合、ナビゲーションを終了する必要があります。
  ナビゲーションの終了方法は P21 をご参照ください。

microSD カードの取り扱い

注意

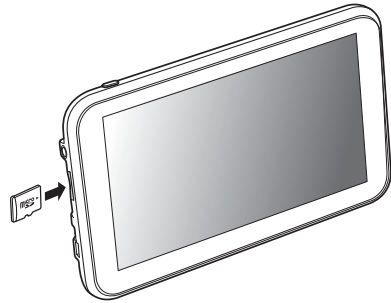
- microSD カードを挿入してから電源を入れてください。また、microSD カードは音楽データまたは写真データをダウンロードするときを除いて、本機から取り外さないでください。microSD カードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。
- ごくまれに、正常にお使いになっていても microSD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

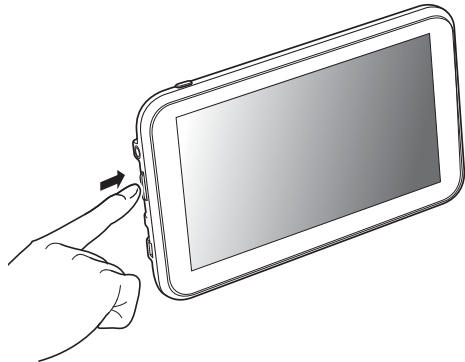
メモ

- 新しい microSD カードをお買い求めになるときは、下記推奨メーカーのものをお買いになる事をお勧めいたします。
  推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk、HAGIWARA、TRANSCEND。

microSD カードの取り付け

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

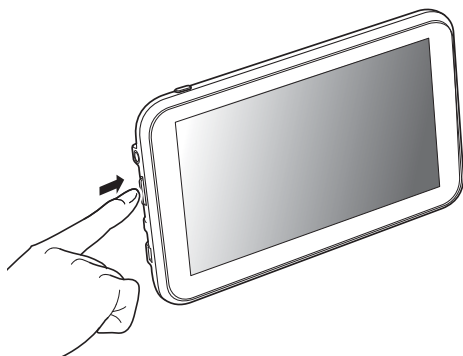
2 microSD カードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する

3 microSD カードが固定されるまで microSD カードを押す

無理に microSD カードを押し込むと、本機または microSD カードを破損する恐れがあります。

注意

- 変形したり、傷ついた microSD カードを本機に入れないでください。
- microSD カードにシールやテープなどを貼りつけないでください。

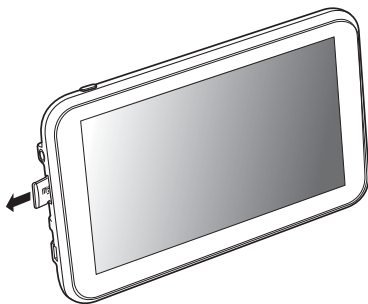
microSD カードの取り外し

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 microSD カードをカチッと音がするまで奥にゆっくりと押し込む

カチッと音がしたら、microSD カードに指を添えながら手前に戻してください。

注意

- microSD カードを押し込んだあと、指をすぐに離さないでください。
  強く押し込んだ状態で指を離すと、microSD カードが勢いよく飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 microSD カードをゆっくり引き抜く

microSD カードが出てきますので、microSD カードをまっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

注意

- 万一、microSD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

再生するデータのダウンロードについて

用意した音楽または写真データを microSD カードへコピーして、本機にて再生させることができます。microSD カードへのコピーはパソコンにて以下の方法で行ってください。

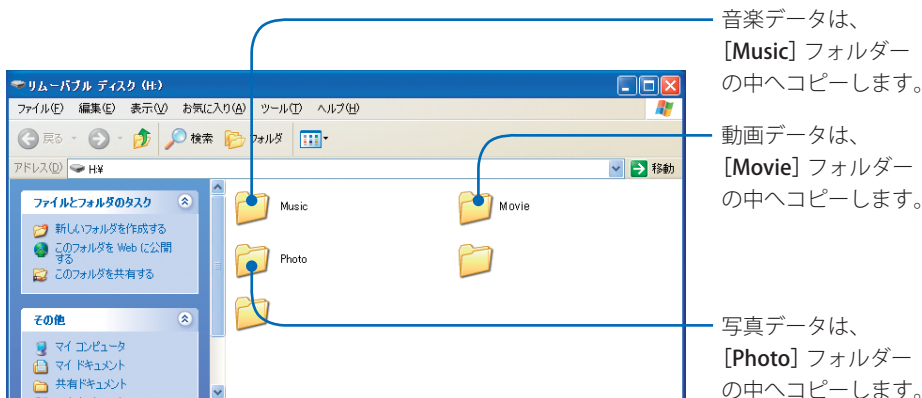
1 各データを入れるために次のフォルダーを作る

Movie：動画データ用、Music：音楽データ用、Photo：写真データ用
各データは上記名称のフォルダに入れなくても再生はできます。しかし、データを上記名称のフォルダにいれておくと、簡単にデータを探し出せます。

2 作成したデータを本機の microSD カードの各フォルダーの中へコピーする

音楽データは、[Music] フォルダーの中へコピーします。

動画データは、[Movie] フォルダーの中へコピーします。

写真データは、[Photo] フォルダーの中へコピーします。

再生できる動画データ	
ファイルフォーマット	AVI、MP4
動画コーデック	MPEG1/2、MPEG4（Xvid） （320 × 240、48kbps）
音声コーデック	MP3
再生できる音楽データ	
コーデック	MP3
表示できる写真データ	
コーデック	JPEG
最大ピクセル数	1024 × 768

（但し、データにより再生できない場合があります）

動画を見る

動画情報表示
現在再生中の動画をファイル名で表示します。

プログレスバー
動画の進行状況を表示します。

動画ファイルリスト表示
動画ファイル名をリスト表示します。

ボタン
メインメニューに戻ります。

Sample 01
00:00/01:38

▶ または II ボタン

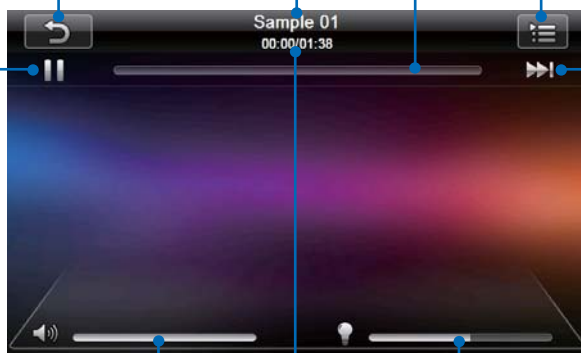
▶ ボタン
このボタンは、一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

II ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると動画の再生を一時停止します。

▶▶I ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ先の動画に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1 つ先の動画に移っていきます。

輝度調整表示
ここをタッチすると、輝度を調整できます。

音量表示
ここをタッチすると、音量が調整できます。

再生時間表示 / 再生総時間表示
現在再生している動画の再生時間と再生中の動画の再生総時間を表示します。

再生する動画を選ぶ

動画を再生するため、動画ファイルリストより再生したい動画ファイルを選択します。

1 メインメニューを表示させて [動画] をタッチする

▼

microSD カードが「SDMMC」として動画ファイルリストの左上に表示されます。

2 「SDMMC」をタッチする

動画ファイルリスト

SDMMC

▼

microSD カード内にフォルダがある場合はフォルダが表示されますので、動画を入れたフォルダを順次選択して行きます。

動画ファイルリスト

Movie

3 再生したい動画ファイルをタッチする

動画ファイルリスト

Sample 02 Sample 01

▼

タッチした動画ファイルの再生が始まります。

動画ファイルが多い場合は、右側のリストバーの [▲] または [▼] をタッチしてページを変えてください。

4 動画ファイルリストに戻るには、[ ] をタッチする

Sample 01
00:00/01:38

▼

動画ファイルリストに戻ります。

注意

- 動画ファイルが入っている microSD カードが抜かれると、再生中の動画は停止し、動画ファイルリストは削除され動画は再生されません。

メモ

- 動画ファイルリストに表示されるアイコンの意味は次の様になります。
  - ：動画ファイル
  - ：動画ファイルが入っているフォルダ
  - ：1 つ前の動画ファイルリストに戻る。

動画の再生・停止

1 動画を再生するには、動画ファイルリストの動画ファイルをタッチする

▼

他の動画が再生中でもその動画の再生が始まります。

動画が再生されてる部分をタッチすると全画面表示になります。
全画面表示の時に画面のどこかをタッチすると元の表示に戻ります。

2 再生を一時停止するには、[II] をタッチする

アイコンが［II］から［▶］に変わります。
［▶］をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

3 他の動画を見たい場合は、[ ] をタッチして動画ファイルリストを表示し、手順 *1* をおこなう

メモ

- 再生可能なファイルに関しては、P85 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 選んだ動画の再生が終わると、動画ファイルリストの次の動画が再生されます。
- ファイルの解像度が大きかったりすると、動作が遅くなる場合があります。
  その場合は、解像度を下げてください。

動画再生時に音量を調整する

1 音量を上げるには音量調整バーのポイントより右側をタッチする

2 音量を下げるには音量調整バーのポイントより左側をタッチする

メモ
- ここでの音量設定は、設定メニューの音量設定にも反映されます。

動画再生時に輝度を調整する

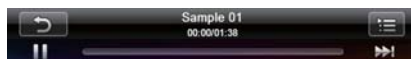
1 輝度を上げるには輝度調整バーのポイントより右側をタッチする

2 輝度を下げるには輝度調整バーのポイントより左側をタッチする

メモ
- ここでの輝度設定は、設定メニューの画面の明るさ設定にも反映されます。

動画の早送り・早戻し

1 動画の早送りをするには、プログレスバーのポイントより右側をタッチする

動画の早戻しをするには、プログレスバーのポイントより左側をタッチする

2 1 つ先の動画に移るには、[▶▶|] をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の動画に移っていきます。

音楽を聴く

プログレスバー
曲の進行状況を表示します。

音楽情報表示
現在再生中の曲を音楽ファイル名で表示します。

ボタン
メインメニューに戻ります。

音楽ファイルリスト表示
音楽ファイルをリスト表示します。

再生時間表示 / 再生総時間表示
現在再生している音楽の再生時間と再生中の曲の演奏時間を表示します。

Sample 01
00:20 / 03:52

再生切換ボタン（P93）
このボタンをタッチすると、音楽ファイルリスト内の音楽ファイルを次のように再生します。

順次再生：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を1回のみ順次再生します。

オールリピート：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を繰り返し再生します。

1曲リピート：
再生中の曲を繰り返し再生します。

ランダム再生：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

音量表示
ここをタッチすると、音量が調整できます。

■ボタン
このボタンをタッチすると、再生を停止します。

▶▶| ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の曲に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1つ先の曲に移っていきます。

▶ または II ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

II ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると音楽の再生を一時停止します。

|◀◀ ボタン
このボタンをタッチすると、前曲に戻り再生します。

再生する音楽を選ぶ

音楽を再生するため、音楽ファイルリストより再生したい音楽ファイルを選択します。

1 メインメニューを表示させて[ ]をタッチする

▼

microSDカードが「SDMMC」として音楽ファイルリストの左上に表示されます。

2 「SDMMC」をタッチする

▼

microSDカード内にフォルダがある場合はフォルダが表示されますので、音楽を入れたフォルダを順次選択して行きます。

3 再生したい音楽ファイルをタッチする

▼

タッチした音楽ファイルの再生が始まります。

音楽ファイルが多い場合は、右側のリストバーの[▲]または[▼]をタッチしてページを変えてください。

4 音楽ファイルリストに戻るには、[ ]をタッチする

▼

音楽ファイルリストに戻ります。
音楽の再生中は、音楽を再生したまま音楽ファイルリストに戻ります。

注意

- 音楽ファイルが入っているmicroSDカードが抜かれると、再生中の音楽は停止し、音楽ファイルリストは削除され音楽は再生されません。

メモ

- 音楽ファイルリストに表示されるアイコンの意味は次の様になります。
  - ：音楽ファイル
  - ：音楽ファイルが入っているフォルダ
  - ：1つ前の音楽ファイルリストに戻る。

曲の再生・停止

1 曲を再生するには、音楽ファイルリストの音楽ファイルをタッチする

▼

他の曲が再生中でもその曲の再生が始まります。

2 再生を一時停止するには、[II] をタッチする

アイコンが [II] から [▶] に変わります。[▶] をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

3 曲を停止するには、[■] をタッチする

再生を停止し、曲の始めに戻ります。

4 他の曲を聴きたい場合は、[ ] をタッチして音楽ファイルリストを表示し、手順 **1** をおこなう

メモ

- 再生可能なファイルに関しては、P85 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 選んだ曲の再生が終わると、音楽ファイルリストの次の曲が再生されます。
- ランダム再生を選ぶと、順不同で音楽ファイル再生します。ただし、再生される曲は同じ音楽ファイルリスト内の曲です。繰り返し同じファイルを再生する場合は、再生切換ボタンをタッチし、 を選択にしてください。

音楽再生時に音量を調整する

1 音量を上げるには音楽調整バーのポイントより右側をタッチする

2 音量を下げるには音楽調整バーのポイントより左側をタッチする

メモ

- ここでの音量設定は、設定メニューの音量設定にも反映されます。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーのポイントより右側をタッチする

曲の早戻しをするには、プログレスバーのポイントより左側をタッチする

2 1つ先の曲に移るには、[▶▶|] をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1つ先の曲に移っていきます。

3 1つ前の曲に移るには、[|◀◀] をタッチする

色々な再生方法

再生方法の変更

音楽ファイルリスト内の曲を順次再生、ランダム再生を切り替えられます。
また、再生中の曲を繰り返す1曲リピート、再生中の音楽ファイルリストを繰り返し再生するオールリピートを切り替えられます。

1 再生切り替えボタンをタッチして、再生方法を変更する

順次再生：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を1回のみ順次再生します。

オールリピート：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を繰り返し再生します。

1曲リピート：
再生中の曲を繰り返し再生します。

ランダム再生：
同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

注意

- 音楽再生中に microSD カードの抜き差しを絶対にしないでください。正しく動作しなくなります。

メモ

- 再生は、音楽ファイルリストに表示されている音楽ファイルになります。
音楽ファイルリスト内に表示されているフォルダ内の音楽ファイルは再生されません。

写真を再生する

写真情報表示
現在再生中の写真ファイル名を表示します。

写真ファイルリストボタン
このボタンをタッチすると、写真ファイルリスト画面に表示を切り替えます。

ボタン
メインメニューに戻ります。

01.JPG

縮小ボタン
このボタンをタッチすると、写真が縮小表示されます。

拡大ボタン
このボタンをタッチすると、写真が拡大表示されます。

回転ボタン
このボタンをタッチすると、写真が右回りに回転します。

ボタン
このボタンをタッチすると、1つ前の写真に戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ前の写真に戻っていきます。

スライドショーボタン
このボタンを押すと、スライドショーを始めます。

削除ボタン
このボタンをタッチすると、現在表示している写真を削除します。

注意

● microSDカード内の写真を表示している場合、microSDカード内の写真データ自体が削除されます。ご注意ください。

ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の写真に移ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ先の写真に移っていきます。

再生する写真を選ぶ

写真を再生するため、写真ファイルリストより再生したい写真ファイルを選択します。

1 メインメニューを表示させて［　］をタッチする

▼

microSD カードが「SDMMC」として写真ファイルリストの左上に表示されます。

2 「SDMMC」をタッチする

▼

microSD カード内の写真ファイルまたは写真ファイルが入っているフォルダが表示されます。

3 再生したい写真ファイルをタッチする

▼

タッチした写真ファイルが表示されます。

写真ファイルが多い場合は、右側のリストバーの［▲］または［▼］をタッチしてページを変えてください。

4 写真ファイルリストに戻るには、［　］をタッチする

▼

写真ファイルリストに戻ります。

メモ

- 写真ファイルリストに表示されるアイコンの意味は次の様になります。
  - ：写真ファイル
  - ：アルバムまたは写真ファイルが入っているフォルダ
  - ：1 つ前の写真ファイルリストに戻る。

写真の再生

1 写真を再生するには、写真ファイルリストの写真ファイルをタッチする

▼

タッチした写真ファイルが表示されます。
写真ファイルが入っているフォルダが表示されいる場合は、そのフォルダをさらにタッチしてください。
他の写真が再生中でもその写真を再生します。

写真が再生されてる部分をタッチすると写真表示のみになります。
写真表示のみの時に画面のどこかをタッチすると元の表示に戻ります。

2 写真を縮小するには、[ ] をタッチする

3 写真を拡大するには、[ ] をタッチする

4 1 つ先の写真に移るには、[ ] をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ先の写真に移っていきます。

5 1 つ前の写真に移るには、[ ] をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ前の写真に戻っていきます。

6 写真を回転するには、[ ] をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、写真は 90° づつ回転していきます。

7 写真を削除するには、[ ] をタッチする

▼

確認ダイアログ画面が表示されます。
[はい] をタッチした場合は、表示中の写真が削除されます。
[いいえ] をタッチした場合は、写真の削除は実行されません。

注意

- 削除した写真を復活させることはできません。microSD カード内の写真を表示している場合、microSD カード内の写真データ自体が削除されてしまいます。写真を削除する前に、削除してよい写真かご確認ください。
- microSD カードのデータは必ずバックアップを取っておいてください。

8 スライドショーを始めるには、[ ]をタッチする

▼

スライドショーが始まります。
スライドショーを終わらせるには、画面のどこかをタッチしてください。

メモ

- 再生可能なファイルに関しては、P85 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 再生は、写真ファイルリストに表示されている写真ファイルになります。
  写真ファイルリスト内に表示されているフォルダ内の写真ファイルは再生されません。
- 大きなファイルを選ぶと表示に時間がかかったり、動作が遅くなったりします。
  ファイルサイズに関しては P85 を参照してください。

設定を変更する

初期化設定
初期化をするときに、ここをタッチします。初期化を確認する画面が表示されます。

音量設定
音量または操作音を設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

明るさ設定
画面の明るさを設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

パネル補正設定
パネル補正をするときに、ここをタッチします。設定画面が表示されます。

ボタン
メインメニューに戻ります。

設定
音量
明るさ
初期化
パネル補正
GPS情報
システム情報
アップデート
ユーザーモード

アップデート
本機をアップデートするときに、ここをタッチします。

GPS 情報
GPS の受信状況を表示します。

システム情報
ここをタッチすると、システム情報の表示をします。

ユーザーモード設定
ユーザーモードを設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

音量を変更する

ナビゲーションおよびシステムの音量、またタッチパネルの操作音を変更することができます。

1 メインメニューを表示させて［ ］をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［音量］をタッチする

▼

音量設定 音量 操作音 小

音量設定の画面が表示されます。

3 音量を設定するには、［音量］の［◀］または［▶］をタッチする

4 タッチパネルの操作音を設定する場合には、［操作音］または［音量］で調整する

- 操作音を設定する場合
  ［操作音］の◀または▶をタッチします。
- 操作音の音量を調整する場合
  ［音量］の◀または▶をタッチします。
  ［操作音］が「オフ」に設定されている時は操作音の音量は調整ができません。

5 設定メニューに戻るには、右上の［ ］をタッチする

メモ

- 操作音の音量を調整するために、［音量］を変更すると、他の音量も変更されます。

画面の明るさを変更する

画面の明るさの設定を行うことができます。

1 メインメニューを表示させて［ ］をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［明るさ］をタッチする

▼

画面設定 明るさ設定

画面設定の画面が表示されます。

3 画面の明るさを設定するには、［明るさ設定］の［◀］または［▶］をタッチする

4 設定メニューに戻るには、右上の［ ］をタッチする

本機のシステムを初期化する

画面設定や音量設定などシステムで設定した内容を初期化します。

1 メインメニューを表示させて［設定］をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［**初期化**］をタッチする

▼

システムの初期化を確認する画面が表示されます。

3 初期化する場合は、［**はい**］をタッチする

システムは初期化されます。
初期化しない場合は、「いいえ」をタッチしてください。

注意

- 初期化中に電源を切らないでください。また、microSD カードは抜き出さないでください。初期化が正しく行われず、本機が動かなくなる場合があります。
- ナビゲーションとワンセグは、初期化されません。
- ナビゲーションを初期化したい場合は、（→ P63）「設定をご購入時の状態に戻す」を参照してください。
- ワンセグを初期化する場合は、P79 を参照してください。

タッチパネル補正

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をするために使います。

1 メインメニューを表示させて［設定］をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［**パネル補正**］をタッチする

▼

タッチパネル補正を確認する画面が表示されます。

3 タッチパネル補正をする場合は、［**はい**］をタッチする

タッチパネルを補正しない場合は、「いいえ」をタッチしてください。

▼

タッチパネル補正の画面が表示されます。

4 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に 4 隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

5 調整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録される

何もしないで 30 秒たつと元の設定になります。

画面をタッチすると新しい設定内容が登録されます。
30秒間タッチしないと元の設定内容に戻ります。

残り時間：23 秒

▼

設定画面に戻ります。
調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

メモ

- 調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサポートセンターにお問い合わせください。
- ターゲットの中心部分（＋）をタッチするときには、付属のスタイラスペンで行ってください。

注意

- ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。

本機の GPS 情報を確認する

本機が受信している GPS 情報を表示したり、受信している GPS 情報をリセットできます。

1 メインメニューを表示させて［設定］をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［**GPS 情報**］をタッチする

▼

GPS情報
緯度：90.000000
経度：0.000000
高度：150.000000 M
速度：0.000000 km/h
UTC: 2080/01/06 04:12:59
リセット

GPS 情報の画面が表示されます。

3 GPS 情報をリセットする場合は、［**リセット**］をタッチする

注意

- 通常［**リセット**］を行う必要はありません。

4 設定メニューに戻るには、右上の［ ］をタッチする

本機のシステム情報を確認する

本機のシステム情報を表示して確認できます。

1 メインメニューを表示させて [ ] をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの [**システム情報**] をタッチする

▼

システム情報

Model No: DTN-X680
Rom: V.12D.A30004.100726.4G
APP : V1.0.02.10.08.13

システム情報の画面が表示されます。

3 システム情報に戻るには、[ ] をタッチする

本機をアップデートする

本機のソフトウェアは、アップデートすることができます。

1 車のエンジンをかける

2 必要なファイルが入った microSD カードを本機に挿入する

3 シガー電源アダプターを、本機、シガーソケットの順で接続する

メモ

- 室内でアップデートする際には、付属の AC アダプターをお使いください。

4 本機の電源を入れ、メインメニューを表示させて [ ] をタッチする

設定メニューが表示されます。

5 設定メニューの [**アップデート**] をタッチする

▼

アップデート

アップデート

アップデートを実行する画面が表示されます。

6 アップデートする場合は、[**アップデート**] をタッチする

アップデートしない場合は、[ ] をタッチしてください。

7 アップデートする場合は、[はい] をタッチする

アップデートが行われます。
アップデートしない場合は、[いいえ] をタッチしてください。

8 アップデートが終了し確認画面が出たら、[OK] をタッチする

9 アップデートが終了したら電源を一度切り、再度電源を入れ直す

注意

- microSD カードが入っていない場合、または microSD カードにアップデートのデータが入っていない場合はアップデートが出来ません。
  以下のエラーメッセージが表示されます。
- アップデート中に電源を切らないでください。また、microSD カードは抜き出さないでください。接続されているシガー電源アダプターを抜かないでください。アップデートが正しく行われず、本機が動かなくなる場合があります。
- アップデートの情報はトライウインのホームページをご覧ください。
  また、アップデートの方法もホームページの情報を元に行ってください。
- 間違った操作などでアップデートを失敗した場合、動作しなくなる事がありますので、確実に行ってください。
  ご質問はサポートセンターにお問い合わせお願いします。

メモ

- アップデートを行った場合、初期化を行っても一部お買い上げになったときと同じ状態にならない機能や設定があります。
- アップデートを行った場合、登録地や検索履歴などの情報が消えます。
  登録地は必要に応じ (→ P59)「登録地を本体から microSD カードへコピーする」を使ってバックアップを取る事をお勧めします。

ユーザーモードの設定する

GPS 信号を受けているときに、その信号を解析して、運転していると判断するとワンセグ TV は安全のため見る事ができません。
助手席の方など、運転手以外の方が見る場合にユーザーモードの設定で切り換えます。

1 メインメニューを表示させて [ ] をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの [ユーザーモード] をタッチする

ユーザーモードが表示されます。

3 [運転席] をタッチする

走行中にワンセグ TV を見る事ができません。

[助手席] をタッチする

走行中にワンセグ TV を見ることができます。

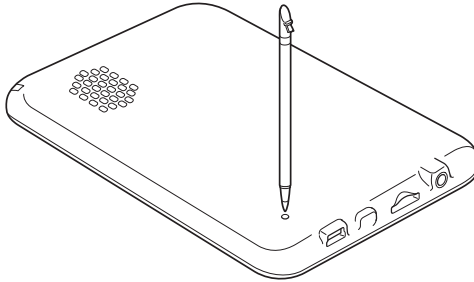
4 設定メニューに戻るには、右上の [ ] をタッチする

注意

- 運転席モードに設定した場合、本機が走行中と判断すると、ワンセグ TV は見る事ができません。
  視聴したい場合は、安全な場所に車を停車させてください。
- 助手席モードに設定した場合は、走行中に助手席の方や後部座席の方がワンセグ TV の視聴をする事ができるモードになります。

本機のリセット方法

リセットは、本機が正しく動作しない場合やフリーズした場合におこないます。

1 本機後面のリセットスイッチを本機のスタイラスペンで軽く押す

メモ

- 本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源が入りません。	バッテリーが放電している可能性があります。十分に充電し（P10～P11）、その後電源スイッチを入れてください。 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。 ☎ 0570-030-100
動作しません。	安全性のために、本機の温度保護回路が働き、本機が動作しなくなることがあります。本機が動作できる温度範囲（0℃～55℃）に戻してください。（P112）
電源を入れてから、メインメニューが表示されるまでに時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのようにOSが立ち上がります。オープニング画面表示が出ている間はOSが起動している最中です。（P18）
充電できません。	安全性のために、本機の温度保護回路が働き、充電を停止します。本機が充電できる温度範囲（0℃～45℃）に戻してください。（P112）
	シガー電源アダプターまたはACアダプターが正しく接続されていない場合があります。シガー電源アダプターまたはACアダプターの接続を確認してください。（P9～P10）
パソコンと繋いで充電ができません。	本機の充電端子とパソコンを繋いでも、充電はできません。充電は付属のシガー電源アダプターまたはACアダプターを使って、正しく充電してください。
充電後本機が暖かくなります。	充電後本機は暖かくなりますが、不具合ではありません。
画面がフリーズした（動かなくなった）。	本機後面のリセットボタンを押してください。（P105） 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。 ☎ 0570-030-100
タッチスクリーンの反応が悪い	市販の保護シートは貼らないでください。タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
タッチした箇所と違う箇所が動作する	パネル補正をおこなってください。（P100～P101）
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、2次元測位以上ができなくてはなりません。GPS情報画面をご確認ください。特に周りに高いビルや木などがあり、GPS衛星からの信号が妨害されていることがあります。

症　状	処　置
どうすればナビゲーションからメインメニューに戻れるか分かりません。	「メニュー」をタッチし、ナビゲーションメニューから「メニュー2」を選び、「ナビ終了」を選びます。(P21)
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS衛星からの信号(GPS信号)が正しく受信できていない場合があります。GPS信号を受信できる場所に移動してみてくだい。また、GPS信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。(P66) GPS衛星からの信号は屋内では受信できません。 かならず屋外の見晴らしのよい場所で受信させてください。
	タッチスクリーンに触れて地図画面がずれておりませんか？ 位置がずれた場合は [**現在地**] をタッチしてください。
	現在地設定(P58)をおこなっていませんか？ GPS信号を受信できる場所に移動してみてください。 また、GPS信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。 GPS衛星からの信号は屋内では受信できません。かならず、屋外の見晴らしのよい場所で受信させてください。
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量調整を確認してください。 ワンセグTVの場合(P76) 動画の場合(P89) 音楽の場合(P93) システム音量の場合(P99)
	イヤフォン接続端子にイヤフォンまたはヘッドホンが接続されていませんか。イヤフォン等が接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。(P13)
ワンセグ放送が受信できません。	移動したために受信環境が変化したと推測されます。 ① 局の検索を実施してみてください。 ② 良好に受信できそうな、見通しの良い場所に移動してみてください。
ワンセグTVの画像が停止することがあります。	電波状態が悪くなると、画像が停止します。ワンセグTV用アンテナの向きを変えるか、電波状態の良い場所に移動してください。
映像がギザギザに表示されます。	デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
動画、音楽、写真が再生ができません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを入れてください。(P85)
操作音が聞こえません。	下記の設定を確認してください。 音量設定の操作音を変更する。(P99)

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-X680」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号（S/N）
- 再生したデータ形式（MP3、AVI、JPG など）
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：
トライウインサポートセンター

電話：

0570-030-100

電子メール：

support@trywin.co.jp

受付時間：

月曜日～金曜日（祝日および弊社の休日を除く）

午前 10:00 ～午後 6:00

住所：

〒 331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

Web ページアドレス：

http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書（本書）、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）保証書のご添付がない場合。
（ホ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（へ）船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
（ト）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料などは、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
(The warranty is valid only in Japan.)
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、ポータブルナビゲーション DTN-X680（以下、「本製品」といいます。）用のアプリケーションソフトウェア、地図データ、検索情報データその他コンテンツ情報データ等（以下、「本ソフト」といいます）の使用権をお買い上げいただいたお客様（以下、「お客様」といいます。）とインクリメントＰ株式会社（以下、「弊社」といいます。）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトのインストールまたは使用のいずれも許諾できません。

1. 本ソフトの使用許諾

(1) 本ソフトは、著作権法をはじめ、その他の産業財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトの著作権その他産業財産権は、弊社または弊社に権利を許諾した第三者に帰属します。

(2) 弊社は、お客様が、本ソフトを一時点において 1 台の本製品でのみ使用することができる非独占的な権利をお客様に許諾します。

2. 制限事項

(1) お客様は、本契約書に明記されている場合を除き、本ソフトの一部または全部をインストール、複製、使用または改変等することはできません。

(2) お客様は、本ソフトの一部でも複製、抽出、転記、改変、公衆送信することまたは同時に 2 台以上の本製品で同時に使用することはできません。

(3) お客様は、有償・無償を問わず、本ソフトの一部または全部を第三者に譲渡、再使用許諾、貸与等することはできません。

(4) お客様は、本ソフトに関し、本契約書において許諾された以外の使用をすることはできません。

(5) お客様は、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他これらに準ずる行為を行うことはできません。

3. 保証

法律上の請求原因の種類を問わず、弊社は、本契約書または本ソフトに含まれるマニュアル等の文書に明記されている場合を除き、本ソフトを現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供するものとします。本ソフトの正確性、完全性、有用性、特定の目的に対する適合性、応答の的確性、使用結果、権利侵害の不存在および過失の不存在について、明示または黙示、あるいは法律上のものであることを問わず、一切保証できません。

4. 免責

弊社は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません。）に関して一切責任を負いません。

5. 責任の制限

本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任の範囲は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様に直接かつ生ずべき損害（弊社が予見しまたは予見できた場合を含みます。）に限られるものとし、その賠償額は、本ソフトと同等の機能を有する弊社製品の標準的価格を限度とします。

6. 輸出規制

お客様は、すべての輸出入関連適用法令（関連する禁輸措置および制裁措置を含みます）を遵守することに同意されたものとします。

7. 契約の終了

（1）お客様が本契約中のいずれかの条項の一つに違反した場合、弊社からの通知を要することなく、自動的に本契約は終了します。
（2）本契約が終了した場合には、お客様は、自己が保存した本ソフト（本契約に違反して作成された複製物等を含みます。）の全てを消去するものとします。
（3）お客様は、理由の如何を問わず、本契約の終了について、弊社および弊社が使用許諾を受けている権利者に対して補償金その他如何なる目的での支払いも請求できないものとします。

8. 管轄裁判所

お客様と弊社との間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

9. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

10. 協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、お客様および弊社は、信義に従い誠意をもって協議し解決するものとします。

以上

仕様

寸法	(W) 134 × (H) 84 × (D) 12.5 (突起物を含まず)
質量(重量)	約 180 g (microSD カード含まず)
モニターサイズ	5 V 型 WVGA (800 × 480)
操作方法	タッチパネル
メモリーカード	microSD カード
電源	900mAh リチウムポリマー充電池
CPU	MTK MT3351 468MHz
GPS モジュール	MTK MT3328
Operating System	Windows® CE 5.0
動作温度保証範囲	0℃～ +55℃
充電動作範囲	0℃～ +45℃

動作時間

モード	動作時間
ナビゲーション	約 1.5 時間
動画再生	約 1 時間
音楽再生	約 1 時間
ワンセグ TV	約 1.5 時間
写真再生	約 1.5 時間
ワンセグ TV 録画時間	約 5 時間

※ご使用になる環境により、動作時間は異なる事があります。

※明るさ設定が 5 の時

充電時間

電源	充電時間	備　考
シガー電源アダプター	約 3 時間	電源 OFF 状態
AC アダプター	約 3 時間	電源 OFF 状態

※ご使用になる環境により、充電時間は異なる事があります。

メモ

- 充電の途中で電源を切ると、そのまま電源 OFF 状態で充電が続けられます。電源 OFF 状態での充電中は、タッチスクリーン中央に充電中の (バッテリー残量表示が左から右に移動) が表示されます。
- 電池は累積の使用時間により少しずつ消耗(劣化)していきます。
  そのため、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。